2011年度　総　会　資　料

2011年5月21日（土）

会場：浦安市消防庁舎３階多目的ホール

浦 安 市 国 際 交 流 協 会

目　　次

１．2011 年度　浦安市国際交流協会総会次第・・・・・・・・・ 1
２．名誉会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
３．会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

・・・・・・・・・・・・・・・・・・　議　　事　・・・・・・・・・・・・・・・・・・

４．2010 年度　活動報告　　（議案第１号）・・・・・ 4
５．2010 年度　収支決算　　（議案第２号）・・・・・ 7
６．役員の選任案　　（議案第３号）・・・・・ 10
７．2011 年度　事業計画案　　（議案第４号）・・・・・ 12
　2011 年度　UIFA 等主要事業計画一覧表 ・・・・・・ 別表
８．2011 年度　収支予算案　　（議案第５号）・・・・・ 19

・・・・・・・・・・・・・・・・・・　資　　料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・

９．活動報告の詳細
　・総会･理事会･運営会議・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
　・言語学習部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
　・文化交流部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
　・姉妹都市交流部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
　・総務部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
　・委員会・実行委員会・他・・・・・・・・・・・・・・・ 45
10．浦安市国際交流協会会則・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
11．浦安市国際交流協会組織図・・・・・・・・・・・・・・・ 62

2011年度　浦安市国際交流協会総会次第

総　会　議　事　（時間：午後１時00分～午後２時00分）

１．開　　会

２．会　長　挨　拶

３．名誉会長　挨拶

４．議　長　選　出

５．議事録署名人の選出

６．議　　事　　議案第１号　2010年度活動報告

議案第２号　2010年度収支決算

議案第３号　役員の選任案

議案第４号　2011年度事業計画案

議案第５号　2011年度収支予算案

７．閉　　会

名誉会長挨拶

浦安市長　松崎　秀樹

平成23年度の浦安市国際交流協会総会の開催にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。

浦安市国際交流協会におかれましては、日頃より本市行政へのご支援、ご協力をいただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

去る3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、本市に大きな被害をもたらしました。特に中町・新町地域は、道路の地割れや陥没、液状化現象も発生し、甚大な被害を受けました。

市では、地震に関する臨時外国人相談窓口を開設するとともにホームページで外国人のための災害多言語情報を掲載し、外国人の方への地震に関する情報提供に努めました。このような災害時においては、日頃より外国人との交流を図っている浦安市国際交流協会や浦安在住外国人会の協力が大変重要となることから、今後もご協力下さるようお願いいたします。

浦安市国際交流協会は、今年で25周年を迎え、設立以来、語学講座の開講や外国人のための日本語クラスの開催、姉妹都市交流事業「友好の翼」の企画、運営、文化交流など多岐にわたった活動を続けており、今後も成熟した団体として一層の発展が期待されています。

また、浦安市の国際化施策の方向性を示した「浦安市国際化指針」を平成22年度に策定し、今後は新たな指針に沿って、国際交流を推進してまいりたいと考えています。

国際化を推進している本市としては、国際交流の中核的役割を果たしていただいている浦安市国際交流協会の益々のご活躍に大きな期待を寄せているところであり、21世紀にふさわしい魅力ある「国際都市浦安」を築くため皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会　長　挨　拶

浦安市国際交流協会
会長　徳田　八郎衛

浦安市国際化指針改訂に関連して昨年初頭に行われた市民アンケート調査の結果に衝撃を受けました。UIFA と UFRA は、市域における代表的な国際交流団体と私どもは自負していますが、在住外国人の約６割がそのどちらも知らないと答えたのです。だが、この現実を知っておくと、災害時の避難経路や避難場所を知らない人が４割弱、自治会への参加勧誘を受けたことがない人が７割弱もいたことが理解できるかもしれません。災害時に起こりがちな、「救援物資を送った」、「いや届いていない」という言い分の食い違いは、平時の情報伝達でも起こります。送った方は「十分伝えてきた。受け取らない方が悪いのだ」と主張しがちですが、残念ながら「情報が届いてない」という訴えの方が世間には受け入れられます。そして災害時の情報伝達となると、私たちも「十分伝えています」とはいえない状態です。

今回の震災では、避難所生活こそ免れたものの上下水道損傷や交通機関の乱れ、計画停電、原発事故に伴う数々の風評などで、いわゆる「情報弱者」が受けた不安や不便さは、阪神淡路大震災の比ではありませんでした。協会役員の多くは、電話やメールで情報を求めてきた方に、できるだけの情報提供と助言を行いましたが、これは UIFA への問い合わせというよりは個人的な関係に基づくものでした。そのような信頼関係が構築されていたのは誇るべきことですが、まだ不特定多数への UIFA からの情報提供には至っておりません。一方、首都圏の協会の一部は、市との協定に基づき災害関連情報を多言語で協会のサイトに提供するとともに窓口や電話での問い合わせに対応しています。そのような団体を目指すには内部の組織固めも必要ですが、「UIFA のホームページを見たら何か得られるのでは」と思われるよう、平時から協会の知名度、そしてホームページの権威を高めておく必要があります。皆さんのご協力をお願い致します。

議案第１号

2010 年度活動報告

浦安市国際交流協会の 2010 年度活動のうち、全体事業として実施した活動は次のとおりです。実行委員会方式で実施したものだけでなく、ある部会を中核として実施したものもあります。いずれの場合も部会の枠を超えて協力しています。

１．（総会）５月 15 日、2010 年度総会を実施し、活動報告と新年度活動に関連する議案第１号～５号が承認されました。引き続き JTB 常務（観光立国推進・地域国際化担当）、清水慎一（しみずしんいち）氏より「観光を活かしたまちづくり―姉妹都市交流を活性化するために―」と題する講演を頂きました。

２．（新春交流会）会員同士の交流を目的とした恒例の年末交流会の目的や趣向を少し変え、市内で国際交流に携わっている機関や団体の方々との交流を志向した新春交流会を１月８日にオリエンタルホテルで実施しました。85 名の参加があり、参加された各団体や企業のホームページには画像の速報と「楽しかった」というコメントを掲載頂きました。共催ではありませんが、浦安青年会議所の役員には様々なご協力を頂きました。

３．（他団体との協同活動）浦安青年会議所（JCI）と協同で在住外国人との触れ合いを深める“Friendly Neighbourhood”を実施しました。①６月３日の「みんなでフットサル」では明海大学体育館に約 100 名（競技参加者約 70 名）が集まり、リーグ戦やバルドラール浦安と参加外国人チームの模範試合などを楽しみましたが、その中には日本語学習者とその家族、学習支援者など 27 名の UIFA 関係者の姿がありました。②６月 20 日、MONA １Ｆで「多様な文化と人がともに支え創造するまち浦安へ向けて」と題するパネル・ディスカッションが開催され、インド出身のスダカラン会員がパネラーとして参加しました。③７月７日日没後、「うらやす ECO プログラム・キャンドルナイト」が境川沿いに実施され、元町と新町の二か所に展示場所の割り当てを受けた UIFA は、以前から廃油で製作してきた ECO キャンドルを持ち寄り、環境問題への認識を深めました。なお１月 28 日、UIFA は、JCI より感謝状を頂いています。

７月 11 日には、恒例行事となっている浦安在住外国人会（UFRA）との合同日帰り研修として「谷中＝上野界隈の史跡さんぽ」が実施され、外国出身者 19 名、日本出身者 22 名が交流を深めました。

８月 27・28 日、千葉県で日本 PTA 全国研究大会「ちば大会」が開催され、初日に「国際理解」会場となった浦安市文化会館へは、市Ｐ連からの協力依頼により「浦安市の小中学生が参加した国際交流活動の紹介」と題する写真パネルを三役の手で製作し、展示しました。内容は UIFA が手がけてきたホームステイや教育交流支援の写真です。

４．（他都市の国際交流協会との交流）船橋市国際交流協会（FIRA）が文化庁受託事業として開講した講習会「地域の外国人とともに暮すために～地域参加のための日本

語学習支援～」は、10 月末から２月まで 10 回開講の長いセミナーでしたが、田中智恵子副会長、藤原豊太郎言語学習部会長等６名が参加しました。

11 月５日（金）、越谷市国際交流協会（KIA）大野光政会長以下 22 名の会員が来訪され、お互いの組織と活動を紹介し懇談されました。また 2011 年２月 17 日、四街道市国際交流協会設立準備委員長武野寛子さん他３名の委員と同市秘書広報課井上隆博さんが UIFA を訪問、設立に向けての参考事項について懇談されました。

10 月 17 日には、UIFA からも会長他６名が、法人化の難しさや教訓を教わりに NPO 法人横須賀市国際交流協会（YIA）を訪問し、懇談しました。

10 月 15 日、千葉県西部地区の７協会が船橋市に集まり、千葉県西部地区国際交流協会情報交換会を開催し、会長と米田副会長が参加しました。

５.（訪日生徒への文化交流支援）新型インフルエンザ蔓延の恐れから延期されていた、2009 年 12 月予定のアフガニスタン高校生９名のホームステイを６月に、隔年に訪日する姉妹都市オーランドの Dr.フィリップス高校生 36 名のホームステイを 11 月に、恒例の南アジア８カ国高校生招へいに際してはブータン高校生 10 名のホームステイを 12 月に受入れました。いずれも翻訳・通訳ボランティア委員会が合同で受入れ、歓迎会での通訳や市内・都内・首都圏周辺の見学や学校訪問ではガイドを務め、特に Dr.フィリップス高校生の訪日では京都奈良見学にも同行しました。また姉妹都市交流部会も引率教師の歓迎会や体験的なホームステイを UIFA 独自事業として行いました。

また３月１日から４月４日まで国際センターで「UIFA の教育交流支援」と題して、最近の５年間に行った訪日青少年へのホームステイ、ホームビジット、通訳とガイド、日本文化紹介などの事業の写真をパネル展示しました。しかし、３月下旬に予定していた、ホームステイ受入れ希望家庭向けの説明会や受入れ体験発表会は、震災で国際センターが閉鎖されたため中止となりました。

６.（明海大学留学生支援）７月に明海大学短期留学生 24 名のホームビジットを受入れました。また７月には「七夕の会」を、１月には「お正月遊びと着付けの会」を実施して同校短期留学生に日本の伝統文化を体験させ、半年足らずの短い滞在の中で日本の家庭や文化の香りに触れてもらいました。

また明海大学で５月 27 日には留学生歓迎会、８月４日と２月８日には短期留学生送別会が開催され、会長、文化交流部会、言語学習部会、ホームステイ・ビジット委員会各関係者が招待を受けて出席しました。

７.（講演・シンポジウム）９月 18 日、駐日クロアチア共和国大使館員イリス・リュービチッチ２等書記官（広報担当）による「クロアチア共和国紹介」と題する講演会が文化交流部会によって WAVE101 で開催され、95 名の聴衆が同国の古代から 20 世紀末の地域紛争に至る長い歴史や文化・観光について学びました。英語による講演を見事に通訳したのは二人の翻訳・通訳ボランティア委員でした。

１月 30 日、総務部会が企画し、言語学習部会日本語学習支援グループが協力して国際センターで開催したシンポジウム「日本語教室のゆくえ」には、鎌ヶ谷市、四街道市、市川市、船橋市などの近隣都市からの 10 名を含む 75 名の参加を見ました。

８．（地域活動）10 月 17 日、恒例の浦安市民まつりでは「INTERNATIONAL CAFE」を UFRA と合同で出店。世界のお菓子とインドネシアトラジャコーヒー、または韓国のゆず茶とのセットを販売するとともに活動紹介のパネル展示と「友好の翼ツアー」の紹介を行いました。

１月 16 日、ショッパーズプラザ新浦安１階で開催された恒例の浦安市国際交流・協力フェスティバルにもブースを設け、活動紹介のパネル展示を行いました。２階でも日本語学習支援教室の写真パネルが展示されました。

９．（姉妹都市交流）２月 16 日～23 日、第 18 回友好の翼が姉妹都市オーランドを訪れました。参加者は 16 名でしたが、恒例の日本文化紹介「ジャパンナイト」には会場の Dr.フィリップス高校カフェテリアへ 300 名もの生徒・保護者・一般市民が集まり、日本への関心の高さを示しました。

10. 通年の活動

外国語講座の運営：２会場で９言語 15 講座を運営しました。

日本語学習支援教室：４会場で 11 教室、学習者数平均約 80 名、支援者数平均約 75 名でした。11 月 28 日に美浜公民館で日本語学習支援グループ交流会開催しました。但し、2010 年度末期と 2011 年度当初の活動は、震災のために大きな制約を受けました。

協会広報紙「浦安市国際交流協会ニュース」発行: 7 月、10 月、１月、４月に発行しました。

協会ホームページは、随時更新されています。

11. 事務所移転

事務所所有者である ASA の都合で、３月末に急遽、事務所を移転しました。それに伴い、協会ホームページは、http://members.jcom.home.ne.jp/uifa/ から http://www.uifa-urayasu.jp/ へ３月 24 日付で変更されました。

なお、月ごと、グループごとの活動報告の詳細は、30 ページ以降に記載しています。

議案第2号

2010年度収支決算

一般会計及び特別会計の収支計算について、以下のとおり監事の意見をつけて、 報告します。

1.一般会計2010年度決算　収支計算書

（ 期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日　単位:円）

科目			1予算	2実績	3差額(2-1)	摘　　要
収入	1	年度会費(2010年度会費)	800,000	856,675	56,675	
	2	補助金(市補助金2010年度)	6,000,000	6,000,000	0	
	3	雑収入(前期差益)		12,665	12,665	委託事業未収入金計上額の修正
	4	前年度繰越金	861,210	861,210	0	
	5	特別会計からの繰入	763,190	0	-763,190	基金取り崩し実績　0
	6	言語学習部会	4,518,000	5,580,000	1,062,000	
	6-1	外国語グループ	(4,080,000)	(5,028,000)	(948,000)	講座受講者の増
	6-2	日本語グループ	(438,000)	(552,000)	(114,000)	日本語講座受講者の増
	7	文化交流部会	149,000	155,680	6,680	
	8	姉妹都市交流部会	6,000,000	3,170,000	-2,830,000	「友好の翼」参加者の計画比減等
	9	総務部会	430,000	393,500	-36,500	
	合計		**19,521,400**	**17,029,730**	**-2,491,670**	
支出	1	言語学習部会	5,370,400	5,247,861	-122,539	外国語グループと日本語グループの合計
	1-1	(外国語グループ)	(4,504,400)	(4,387,151)	(-117,249)	事業費の節減
	1-2	(日本語グループ)	(866,000)	(860,710)	(-5,290)	
	2	文化交流部会	412,000	387,555	-24,445	事業費の節減
	3	姉妹都市交流部会	7,610,000	4,138,623	-3,471,377	「友好の翼」参加者の計画比減および事業費の節減
	4	総務部会	1,440,000	1,002,426	-437,574	総会・新春交流会等事業費の節減
	5	本部経費	4,639,000	5,294,100	655,100	明細は附属資料1参照 新事務所への移転関連費用の増
	6	予備費	50,000	70,000	20,000	引越し運搬費用の増
	7	次期へ繰越金	0	889,165	889,165	附属資料2参照
	合計		**19,521,400**	**17,029730**	**-2,491,670**	

附属資料1		本部経費明細書			単位:円
科目		1. 予算	2. 実績	3. 差額 (2-1)	備考
1	人件費	1,900,000	1,887,214	-12,786	事務局員給料、事務所清掃費用
2	会議費	50,000	35,216	-14,784	理事会・運営会議の会議費
3	消耗品費	150,000	172,331	22,331	消耗品（事務用品等）
4	印刷	100,000	169,134	69,134	コピー代（白黒、カラーとも） 各部会のチラシ作成含む
5	通信費	400,000	374,293	-25,707	電話、インターネット費, 協会ニュース配布、切手
6	交通費	20,000	18,580	-1,420	市外研修会参加、打合せ参加
7	保険料	80,000	63,308	-16,692	傷害・損害賠償保険料
8	賃借料	1,629,000	2,076,000	447,000	コピー機リース料、家賃、実績には、新事務所賃借関連費用含む
9	備品購入費	50,000	349,688	299,688	実績には新事務所備品購入含む
10	支払手数料	10,000	10,658	658	銀行手数料
11	ホームステイ・ビジット事業	150,000	56,545	-93,455	事業費の節減
12	翻訳・通訳ボランティア事業	50,000	22,933	-27,067	同上
13	渉外費	50,000	58,200	8,200	関係団体との交流参加費用
合計		**4,639,000**	**5,294,100**	**655,100**	

附属資料2		一般会計資金残高明細書			単位:円
摘要		残高等	内訳		備考
			2011年度への繰越金	前受金 2011年度 会費	
1	本部小口現金	50,357	50,357	0	事務局預かり分
2	本部預金口座	894,488	820,808	73,680	口座は京葉銀行浦安支店
3	本部会費預金口座	18,000	18,000	0	同上
4	郵貯銀行貯金	373,120	0	373,120	1月～3月末送金入金額
合計 1～4		**1,335,965**	**889,165**	**446,800**	

2. 特別会計 2010 年度決算　収支計算書 期間:平成 22 年4月 1 日～平成 23 年3月 31 日　　単位:円						
摘　要		2009 年度 期末残高 A	2010 年度増減			2010 年度 期末残高 A+B
			予　算	実　績※ B	差額 実績－予算	
1. 基金特別会計		8,427,285	0	6,087	6,087	8,433,372
内訳	（京葉銀行・普通 ）	384,026	0	0	0	384,026
	（千葉銀行・定期 ）	8,043,259	0	6,087	6,087	8,049,346
2. JICA 特別会計		1,571,427	-763,190	0	763,190	1,571,427
（京葉銀行・普通）						
合計　1＋2		**9,998,712**	**-763,190**	**6,087**	**769,277**	**10,004,799**

※6,087 円　千葉銀行定期預金利息

監　査　報　告

2010 年度浦安市国際交流協会の一般会計、特別会計の決算及び事業の実施状況について、預金通帳その他関係書類を監査したところ、会計手続き及び事業の実施について、適正であったことを報告します。

2011 年 4 月 12 日

監事　杉山　かおる

監事　藤岡　順次

議案第３号

役員の選任案

役職名	氏　　名	所　　属	備　考
名誉会長	松　崎　秀　樹	浦安市長	
顧　　問	岡　本　善　徳	浦安市議会議長	
会　　長	徳　田　八郎衛		
副会長	米　田　　喬		
〃	小　西　英　雄		新　任
〃	藤　原　豊太郎		新　任
会　　計	田　中　智惠子		新　任
理　　事	大　島　則　夫	浦安ロータリークラブ	
〃	金　子　保　久	浦安シーサイドライオンズクラブ	
〃	山　本　悦　子	浦安市婦人の会連合会	
〃	熊　切　克　巳	浦安ライオンズクラブ	
〃	野　崎　　実	浦安市体育協会	
〃	柳　内　光　子	浦安商工会議所	
〃	宇田川　秀　夫	浦安市自治会連合会	
〃	深　作　　寛	（社）浦安青年会議所	新　任
〃	大宮山　　泉	浦安市小・中学校校長会	
〃	永　田　聖　晶	浦安市小・中学校 PTA 連絡協議会	新　任
〃	榎　本　敬三郎	浦安中央ライオンズクラブ	
〃	平山クリスティーナ	浦安在住外国人会	
〃	藤　原　豊太郎	言語学習部会	
〃	越　　茂　樹	文化交流部会	
〃	原　田　　光	姉妹都市交流部会	新　任
〃	小　西　英　雄	総務部会	新　任

役職名	氏　　名	所　　属	備　考
副 理 事	宇田川　　勝	浦安ロータリークラブ	
〃		浦安シーサイドライオンズクラブ	
〃	今　西　美 和 子	浦安市婦人の会連合会	
〃	小　川　純 一 朗	浦安ライオンズクラブ	
〃	宇田川　　勉	浦安市体育協会	
〃	高　木　行　雄	浦安商工会議所	
〃		浦安市自治会連合会	
〃	椛　澤　大　樹	（社）浦安青年会議所	新　任
〃		浦安市小・中学校校長会	
〃	山　本　順　子	浦安市小・中学校 PTA 連絡協議会	新　任
〃	醍　醐　　稔	浦安中央ライオンズクラブ	
〃	松　岡　エイミー	浦安在住外国人会	新　任
〃	田　中　稔　也	言語学習部会	
〃	森　光　　修	文化交流部会	
〃	長　尾　　誠	姉妹都市交流部会	
〃		総務部会	

監　事	杉　山　か お る	浦安婦人の会連合会	
〃	藤　岡　順　次	UIFA 元会長	

議案第４号

2011 年度事業計画案

2011 年度の事業計画は、3 月 11 日に発生した東日本大震災により浦安市が甚大な被害を受けたことから、当協会としても出来る限り市へ協力したいと思い、友好の翼事業の中止をはじめ一部事業計画を縮小し、抑制したものとなっています。ただし創立 25 周年記念事業だけは、新会員に創立時の理想や熱気を伝え、５年に１度ぐらいの頻度で協会の歩みを記録に残すためにも実施します。そして「記念行事のための行事」ではなく、お金をかけないでも参加者が満足感を味わえる事業を計画しています。昨年、浦安青年会議所と協同で行った“Friendly Neighbourhood”の精神にのっとり、今年度も在住外国人への支援と交流を深めて行きますが、それと整合性のある事業になるように努めます。最近の５年間の活動を記録するにあたり、この 1000 年に一度の広域大震災、そして浦安市が初めて経験した液状化被害、それらを生まれて初めて体験した在住外国人の苦労も是非書き残したいと思量致します。

市の調査によると在住外国人の３割強が UIFA を知っています。少ないと思われるかもしれませんが、日本人の３割弱しか UIFA を知らないのですから、案外知られていると見るべきでしょう。だが彼らの期待に応えるだけの活動が、まだまだできていません。市の調査によると、「国際交流・国際理解を深めるためにやりたいこと」の複数回答で、「海外旅行や留学を通して人々と交流し、外国の習慣や文化に触れたい」人や「交流できるよう外国語を話せるようにしたい」人は４割も居るのに、「外国人が自治会や PTA と馴染めるようお世話したい」人は７％しかいないのです。「国際交流協会が地域を啓発する役目は、もう 20 年も前に終った」と語られがちですが、この役割はまだ求められていますし、啓発だけでなく私たちが実践する必要があります。そのためにも、市国際センターの指定管理者に応募できる態勢を整えて参ります。

今春は明海大学の短期留学生も急遽帰国しました。今から訪日する青少年もホームステイ受入れ家庭も、ともに減少する可能性さえあります。その分、風評に流されず浦安に留まった方たちとの絆を深めていきましょう。ちょうど在住外国人の皆さんも、私たち地元住民との絆を深める必要性を痛感している時機なのです。

言語学習部会

外国語学習グループ

月 日	活 動 内 容	目 的・目 標
通 年	外国語講座 ベトナム語、ハングル、中国語、インドネシア語、ロシア語、フランス語、スペイン語、イタリア語、英語（７講座）の９言語 15 講座を開設する。	海外ならびに地域の外国人との交流を推進するための手段として、外国語の学習と、異文化の理解を進めることを目的とする。
2011年４月	地震のため前期募集を４月 23～24 日にずらして行なう。前期は５月～９月とする。	今回は、２年制の２年目ゆえ、継続受講者優先の受付を行う。
６月	講師と各講座受講生代表との懇談会	講座の運営方法等について意見交換を行い、同時に懇親を深める。
９月	後期受講者のための講座見学会	10 月からの後期受講に先立ち、体験学習の機会を提供する。
９月末	後期受講申し込み受付	継続及び新規追加の募集を行う。
11 月	語研フェスティバルを予定していたが、地震の影響あり、本年は見送る。	
２月	講座見学会	2012 年度前期募集に先立ち、体験学習の機会を提供する。
３月	2012 年度前期募集を行う。期間は４月～９月。	

＊　定例会：毎月第３土曜日に開催します。

日本語学習支援グループ

［日本語学習支援教室］：週４回、毎回 90 分

曜 日	場 所	時 間			定 員
月曜日	国際センター	10：00～12：00			30
	富岡公民館			19：00～20：45	35
火曜日	UIFA 事務所	10：30～12：00			10
	当代島公民館			19：00～20：45	35
水曜日	国際センター	10：00～12：00	13:00～15:00		各 30
木曜日	国際センター	10：00～12：00		19：00～20：45	各 30
金曜日	国際センター	10：00～12：00	13:00～15:00	19：00～20：45	各 30

※ 全部で 11 教室となります。金曜日午後は中級クラスです。
※ 定員は日本語学習支援支援者の人数も含みます。
※ 学習者は、浦安市地域ネットワーク課国際交流係で日本語学習支援教室への参加を申し込みます。
※ 参加費として前期（４月～９月）・後期（10 月～３月）各 1,800 円。途中入会は開始月より徴収します。
※ 原則として学習期間２年間とします。
※ 市担当窓口は、学習者の希望教室責任者に連絡し、翌月から学習開始とします。

[研修会]

一般公募により日本語学習支援者募集を目的とした「入門講座」を年２回（６月、２月）開催します。

日本語学習支援者の技術向上のための講習会として、「スキルアップ講習会」を２～３回実施予定です。

浦安以外で行われる研修会にも積極的に参加します。

[教室外授業]

各教室の自主活動として、教室外授業を予定しています。

「外国の料理会」、「日本の文化体験」など。

[合同交流会]

全教室の日本語学習支援者・学習者とそれぞれの家族と合同の交流会を実施します。

外国語講座受講生も招待し、教室を超えた国際交流の場となります。（年１回）

[特別事業]

・市主催の「国際交流・協力フェスティバル」へ参加します。
・市民まつりに参加します。
・外国語学習グループ主催の「語研フェスティバル」へ学習者による日本語学習の成果発表の場として、例年、参加していましたが、本年は、「語研フェスティバル」が中止になりました。

＊ 定例会：毎月第３土曜日に開催します。

文 化 交 流 部 会

地域の国際交流を図るために、外国文化･日本文化を紹介する企画･運営を行います。

月 日	活 動 内 容	目 的・目 標
6月	UIFA・UFRA 合同日帰り研修	日本文化に触れながら外国人との交流を図る。 目標参加人数：40 名
9月	明海大学留学生交流事業「月見の会」	お月見の行事、浴衣の着付けなど日本文化を通じて留学生と市民の交流を図る。 目標参加人数：50 名
２月	明海大学留学生交流事業「お正月遊びと着付け」	日本のお正月の行事や遊びを通して留学生が日本文化に触れ、また、振袖や袴を着用して日本の良さを体験してもらう。 目標参加人数：40 名
	外国文化研修事業	外国の文化・諸事情を知る機会として講演会を開催する。 目標参加人数：40 名
	オーランド派遣青少年への日本文化の体験指導	日本の伝統文化の中から和服の着付けと茶道の初歩的な作法を事前習得させる。 目標参加数：30 名
定例会	毎月１回開催を原則とする。	部会員 10 名の参加

姉 妹 都 市 交 流 部 会

月日	活　動　内　容	目　的・目　標
５月	総会で「第 18 回友好の翼」を DVD で紹介	友好の翼の PR
６月	次回友好の翼の基本設計作り（１）	実行委員　５名
７月	次回友好の翼の基本設計作り（２）	部会員　５名
８月	見積基準の作成について（学習）	部会員　５名
９月	旅行代理店の選定について（学習）	部会員　５名
10 月 10 月中旬	友好の翼の広報・宣伝活動について（検討） 市民まつりの会場で友好の翼事業の広報・宣伝	部会員　５名 参加者　５名
11 月初旬	友好の翼の歴史について（学習）	部会員　５名
12 月初旬	友好の翼の歴史について（学習）	部会員　５名
１月中旬	UIFA 年始交流会で友好の翼事業の広報・宣伝 国際交流・協力フェスティバルで友好の翼事業の広報・宣伝、浦安市交流親善人形の会による手作り品販売	参加者　５名 市内の国際交流他団体との交流及び活動 PR
２月	姉妹都市について（学習）	部会員　５名
３月	フロリダ・オーランドについて（学習）	部会員　５名

＊部会定例会は、原則毎月第２土曜日 10:00～11:30 開催する。

親善人形交流グループ

活動内容：定例会は、毎月（８月を除く）第一・第三月曜日（14：00－16：00）に開催する。

目的・目標：親善人形制作・地元の小中学校の国際交流の支援・親善人形交流を通して、オーランドをはじめとする世界の国々の子ども達と浦安の小中高の児童・生徒とをつなぐ。
国際交流・協力フェスティバルへの積極的参加。
地域の国際交流団体との交流。
など。

総 務 部 会

1.役 割

協会の円滑で効率よい運営のための環境をつくります。

(1)会員の資質向上と国際交流、地域国際化への理解を深めるセミナー等を開催します。

(2)会員の地域への関心を高め協会への理解を深める地域交流（含む：在住外国人)、地域国際化を推進します。

(3) 会員相互の啓発と協会への理解に寄与する広報活動を行います。

(4) 協会事務局業務を統括します。

2.活動計画

月日	活　動　内　容	目　的・目　標
4月	UIFA ニュース NO.97 号発行 総会準備	発行部数：1,200 部 案内発送・各担当者決めなどを行う。
5月	総会準備 総会実施	資料印刷発注 活動状況の周知と承認。目標参加 70 人
6月	講演会(ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ)実行委員会設置	講演会(シンポジウム)のテーマ検討
7月	協会ニュース NO.98 号発行 市民まつり実行委員会設置 国際交流･協力フェスティバル実行委員会設置 地域交流サロン実施	発行部数：1,200 部 日時・場所・内容の決定 〃 会員と在住外国人との地域交流
8月	市民まつり準備 新春交流会実行委員会設置	テーマ及び詳細内容の決定 日時・場所・内容の決定
9月	地域交流サロン実施 UIFA 創立 25 周年記念交流会実施 UIFA 創立 25 周年記念誌発行	会員と在住外国人との地域交流
10 月	UIFA ニュース NO.99 号発行 市民まつり参加	発行部数：1,200 部 市の施策への協力・UIFA の PR
11 月	新春交流会準備 総会・交流会実行委員会設置 講演会(シンポジウム)準備 地域交流サロン実施	内容の最終決定 日時・場所の決定と予約 講師選出 会員と在住外国人との地域交流
12 月	新春交流会準備	
1月	UIFA ニュース No.100 号発行 新春交流会実施 国際交流・協力ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ実施 講演会(シンポジウム)実施 地域交流サロン実施	発行部数：1,200 部 会員の親睦交流・国際理解・地域交流の促進 団体同士の交流及び一般市民への UIFA の PR 会員資質の向上・地域国際化促進 会員と在住外国人との地域交流
2月	総会準備	担当別資料作成開始
3月	総会準備	資料読み合わせ・印刷発注準備

＊定例会：運営会議後、月 1 回開催する。

＊UIFA 創立 25 周年記念交流会、市民まつり、新春交流会、講演会（シンポジウム)、国際交流・協力フェスティバルおよび総会の準備においては、実行委員会を組織し、当部会も支援を行う。

＊協会ホームページ及び市民活動センターのホームページ（UIFA のページ）を随時更新する。

＊UIFA メール便を随時発行する。

ホームステイ・ビジット委員会

月日	活　動　内　容	目　的・目　標
5月	今年度受入れ調整	各団体と打合せ
8月	明海大学留学生ホームビジット受入れ準備	明海大学と打合せ
9月	南アジア高校生ホームステイ準備 明海大学留学生ホームビジット受入れ準備	要請元との打合せ ホームステイ希望者募集 受入れ家庭募集
10月	南アジア高校生ホームステイ準備	受入れ家庭募集 マッチング
11月	南アジア高校生ホームステイホストファミリーへ事前説明会 明海大学留学生ホームビジット受入れ	国の紹介、マッチング ビジット実施
12月	南アジア高校生ホームステイ受入れ 南アジア高校生歓送レセプション	博物館見学、交流会、ステイ、レセプション出席

翻訳・通訳ボランティア委員会

月日	活　動　内　容	目　的・目　標
5月	新しい翻訳・通訳ボランティアを募集し、現登録ボランティアとの交流会を開催する。	新しい人材の確保。 UIFA と委員会の活動や本年度の企画について説明する。
7月	日本語禁止のインターナショナルカフェを開催する。 英語、韓国語、中国語などを使って会話を楽しむ。	語学力を使う場を提供すると同時にUIFAと当委員会の存在を知ってもらう。
10月	ナショナルデー ひとつの国をとりあげ、その国について知ってもらう体験型の企画	世界の国について知り、その国にまつわることを体験してもらう。
1月	通訳案内士の資格をもつ登録者を講師として迎え、日本の文化、習慣、観光地などについての勉強会を開催する。	左記について学び、外国人に英語で説明できるようにする。

2011 年度　　UIFA 等主要事業計画一覧表　　別　表

月	言語学習部会	文化交流部会	姉妹都市交流部会	総務部会	ホームステイ・ビジット委員会	翻訳・通訳ボランティア委員会	運営会議・理事会	市及び関係団体
4	日本語学習支援教室開講４～３月 外国語講座前期募集（4/23、24）			協会ニュース No.97 号発行 シンポジウム記録冊子発行			運営会議 理事会（4/16）	市議会議員選挙（4/24）
5	外国語学習講座開講　４～３月			総会準備・資料印刷発注	今年度受入れ調整	翻訳・通訳ボランティア募集 翻訳･通訳ボランティア交流会実施	運営会議 （5/28）	県議会議員選挙（5/22）
	Ｕ　Ｉ　Ｆ　Ａ　総　会　　（5月 21 日（土））・消防本部３階大会議室							
6	外国語講師と受講生代表懇談会実施 日本語学習支援者入門講座実施	在住外国人交流事業「日帰り研修旅行実施（UFRA と共催）」	第 19 友好の翼基本設計作り(1)	講演会（シンポジウム）実行委員会設置			運営会議	
7			第 19 友好の翼基本設計作り(2)	協会ニュース No.98 号発行 市民まつり実行委員会設置 国際交流・協力ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ　〃		インターナショナルカフェ実施	運営会議 理事会	納涼花火大会
8			見積基準の作成（学習）	新春交流会実行委員会設置			臨時運営会議	納涼盆踊り大会
9	新規受講者のための外国語講座見学会実施	明海大学留学生交流事業「月見の会」実施	旅行代理店の選定（学習）	地域交流サロン実施 UIFA 創立 25 周年記念交流会実施 UIFA 創立 25 周年記念誌発行			運営会議	
10	外国語講座後期受講生申込受付		友好の翼の広報・宣伝（検討） 市民まつりで友好の翼事業の広報・宣伝	協会ニュース No.99 号発行 市民まつり参加		ナショナルデー実施	運営会議	市民まつり
11	日本語学習支援スキルアップ講習会実施（現登録者対象） 日本語グループ交流会実施		友好の翼の歴史（学習）	総会・交流会実行委員会設置 地域交流サロン実施	南アジア高校生ホームステイのﾎｽﾄﾌｧﾐﾘｰへ事前説明会実施 明海大学留学生ホームビジット受入れ		運営会議 理事会	市民活動フェスティバル ＵＦＲＡチャリティコンサート
12			友好の翼の歴史（学習）		南アジア高校生ホームステイ受け入れ 南アジア高校生歓送レセプション出席		運営会議	日本語検定試験 UFRA クリスマスパーティー
1	新　春　交　流　会　実　施						運営会議	国際交流・協力フェスティバル 婦人の会新春交流会
			新春交流会で友好の翼事業の広報・宣伝 国際交流・協力ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙで「友好の翼」広報・宣伝活動・親善人形交流ｸﾞﾙｰﾌﾟで手作り品販売	協会ニュース No.100 号発行 国際交流･協力ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ参加 講演会(シンポジウム)実施 地域交流サロン実施		通訳案内士による勉強会実施		
2	外国語講座見学会実施 日本語学習支援者入門講座実施	明海大学留学生交流事業「お正月遊びと着付けの会」実施 外国文化研修事業「講演会」実施 オーランド派遣生への日本文化指導	姉妹都市について（学習）	地域交流サロン実施			運営会議	東京ベイ浦安シティマラソン
3	外国語講座前期受講生申込受付	日本語学習支援スキルアップ講習実施	フロリダ・オーランドについて（学習）				運営会議	青少年海外派遣
備考	定例会：毎月第３土曜日	定例会：毎月１回 青少年海外派遣事業や他部会の日本文化体験にも協力	定例会：毎月第２土曜日 10：00～11：30 親善人形交流グループ定例会：毎月２回	定例会：毎月１回 ホームページ 随時更新 UIFA メール便随時発行		英語によるホームページの作成	第３土曜日	日付無きものは、変更の可能性あり

議案第 5 号

2011 年度収支予算案

1. 一般会計 2011 年度収支予算案 期間:2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日　　単位:円				
科　目		収　入	支　出	摘　　要
1	会費	840,000	0	2011 年度会費
2	補助金(浦安市)	4,800,000	0	昨年度比 20%の削減
3	前年度繰越金	889,165	0	2010 年度からの繰越金
4	特別会計から繰入	898,905	0	JICA 特別会計取り崩し
5	言語学習部会	4,158,800	5,004,870	言語学習事業
	(外国語グループ)	(3,728,800)	(4,104,870)	上記内訳
	(日本語グループ)	(430,000)	(900,000)	
6	文化交流部会	180,000	433,000	文化交流事業
7	姉妹都市交流部会	0	100,000	「友好の翼」は計上せず
8	総務部会	560,000	1,420,000	地域交流事業、総会・交流会・協会ニュース発行等関連費用
9	本部経費	0	5,269,000	明細は下記の通り
10	25 周年記念事業(1)	0	50,000	過去5年間の記録整備費用
11	予備費	0	50,000	
合計		12,326,870	12,326,870	

本部経費明細書　　単位:円			
科　目		支出金額	摘　　要
1	人件費	2,000,000	事務局員給料、清掃費
2	会議費	50,000	理事会・運営会議等　会議費
3	消耗品費	150,000	事務用品等消耗品の購入
4	印刷費	140,000	ｺﾋﾟｰ代(カラー共、各部会チラシ含む)
5	通信費	460,000	電話・ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ費・協会ニュース配布･切手
6	交通費	20,000	市外研修参加等
7	保険費	70,000	傷害・損害賠償保険料
8	賃借料	2,049,000	新事務所家賃・ｺﾋﾟｰ機ﾘｰｽ料
9	備品購入費	150,000	新事務所間仕切・備品購入・修繕費
10	支払手数料	10,000	銀行手数料
11	ホームステイ･ビジット 事業	60,000	ホームステイ･ビジット受入れ事業費
12	翻訳・通訳ボランティア事業	50,000	翻訳・通訳ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ事業費
13	渉外費	60,000	関係団体との交流参加費
合計		5,269,000	

2. 特別会計 2011 年度　収支予算案 期間:2011 年4月1日～2012 年3月 31 日　　単位:円			
摘　　要	2010 年度 期末残高	2011 年度 収支※1	2011 年度 期末残高
1. 基金特別会計※2	8,433,372	0	8,433,372
2. JICA 特別会計※3	1,571,427	-898,905	672,522
合　　計	**10,004,799**	**-898,905**	**9,105,894**

※１．2011 年度収支
一般会計への繰入（金額については一般会計 2011 年度収支予算案項目４参照）

※２．基金特別会計
（１）協会の行う臨時的な特別な事業の運転・運営資金に充当する。
（２）年度計画外の事業の臨時の出費に充当する。

※３．JICA 特別会計
最近 JICA 青年招聘事業が改編されて以降、2011 年度も 2010 年度に引き続いて、UIFA の受け入れ可能なプログラムがなく、2011 年度の収支は特にありません。
年度計画の一般会計不足金については、これから繰入金に充当する。

以上

2010年度活動報告の詳細

総会･理事会･運営会議

月日	活動内容 会場 参加人数	活　動　の　詳　細	審議事項等の 結果･結論
4/17	運営会議 文化会館第１会議室 19名	【審議事項】 １．総会議案第１～第６号について 会則改正は、①計画担当の副会長の増設、②翻訳・通訳ボランティア委員会の新設、③総務研修部会から総務部会への名称変更。 ２.浦安青年会議所(JCI)共催事業実行委員会およびアフガニスタン高校生ホームステイ実行委員会の結成について 【報告事項】 １．各部会・委員会・実行委員会・市から ２．各部会等新役員・新事務員紹介・浦安市着任職員紹介	→原案通り可決。 →原案通り可決。共催事業については実行委員長未定。ホームステイについては伊藤委員長が実行委員長兼任。
	理事会 文化会館第１会議室 19名（団体理事・副理事７名、運営会議理事９名、市３名）	【審議事項】 １．総会議案第１～第６号について 【報告事項】 ２．新理事等の紹介 ３．各部会・各団体・市役所より	→原案通り可決。
5/15	定期総会 文化会館中会議室 60名	１．会長挨拶 ２．名誉会長挨拶（代理：市民経済部長） ３．顧問挨拶 ４．議長選出 ５．議事　2009年度活動報告（議案１号） 2009年度収支決算報告（議案２号） 役員の選任案（議案３号） 2010年度事業計画案（議案４号） 2010年度収支予算案（議案５号） 会則改正案（議案６号）	→いずれも原案通り可決
	講演会と交流会 文化会館大会議室 80名	６．講演会　演題：「観光を活かしたまちづくり―姉妹都市交流を活性化するために―」、講師：JTB常務　清水慎一氏（しみず・しんいち）氏。 ７．　交流会	

5/22	運営会議 協会事務所 14名	【審議事項} 1．年末交流会検討委員会の結成 2．友好の翼検討委員会の結成 3．インドネシア青年研修生HV実行委員会の結成 4．UIFAニュース7月号編集計画 【報告・連絡事項】 各部会等・浦安市・事務局から	→全て原案通り可決。 1．の委員については過去の経験者から三役が指名し、田中稔也氏が希望して参加。 3．の実行委員長は小西英雄氏に決定。前期明海大学留学生HVは実行委員会を結成せずに実施。
6/13	運営会議 協会事務所 13名	【審議事項】 1．第18回友好の翼実行委員会の結成 【協議事項】 7月度理事会運営要領と理事会の在り方 【報告事項】 1．各部会・委員会・実行委員会から ・JCI共催事業やUFRA共催事業への会員の関心喚起や団体会員へのPR、やさしい日本語による広報の必要性についての提言も行われた。 ・インドネシア青年ホームビジットは、JICAの方針が変わった為ペンディング。 ・7月4日にインドデーを開催 2．会計から ・6月末第1四半期を締め、7月9日までに報告を。	→いずれも原案通り可決 友好の翼ビデオや活動パンフレット等によりUIFAを積極的にアピール →トップ同士だけでなく末端までの趣旨浸透努力がさらに必要。
7/17	運営会議 協会事務所 14名	【審議事項】 1．友好の翼の目的と方針 ・友好の翼検討委員会の報告及び3つの三役提言について審議し、①25名程度を定員とする提言に対して、従来通りの40名定員継続を決定。②青少年派遣との抱き合わせ提言に対して、統一行動の困難性と友好の翼実行委員会が来年2月の日程で検討を進めているので来年度以降の課題とすることに決定。③目的の周知徹底、補助金受託事業としての画像記録完備と参加者全員への配布、国内類似施設への事前見学、現地での訪問先・見学先の選択肢増加、	→一部修正し可決。 ①、②以外の三役提言である③については了承。

		市職員等参加の方策による振作。 ２．年末交流会の目的と方針 年末交流会検討委員会の報告及び三役の提言について審議し、①これまで一般会員の交流を目的に実施してきたが、市内 VIP（市役所、教育委員会、議会、団体理事の幹部）に UIFA を PR し、交流すること及びかつて活動した OB 会員の交流の場とすることを目的として実施することと決定した。 ３．年末交流会実行委員長の任命 【協議事項】 なし。 【報告事項】 １．会長・各部会・委員会・実行委員会から ・11 月 19 日に 30 名の生徒と 6 名の教師の Dr.フィリップス高校生訪日に際して市から UIFA に対して協力依頼が出される見込み。基本的にはホームステイ受入れと通訳（成田への出迎え、京都・奈良への随行も含め）であるが、今まで行ってきた UIFA 独自の歓迎（教師の歓迎会・ホームステイ）も実施したい。 ・UIFA のホームページのデザイン改善を大沢利衣氏が検討。 ・ 前期明海大学留学生のホームビジットは本日 24 名を 14 家庭で受け入れ。 ・9 月 5 日にイングリッシュカフェ（英語喫茶）を行う予定。	→原案通り可決。 →総務部会の大野佑子氏に決定。
8/28	臨時運営会議 協会事務所 13 名	【審議事項】 １．友好の翼業者選定。（担当部会から近畿日本ツーリストを推薦） ２．UIFA ニュース 10 月号計画。 ３．市民まつり実行委員会結成。 ４．国際交流・協力フェスティバル実行委員会結成。 ５．Dr. フィリップス高校生受入実行委員会結成。 ６．UIFA 法人化の検討委員会結成。 ７．明海大学留学生ホームビジット実行委員会および南アジアホームステイ実行委員会の結成。	→いずれも原案通り可決。３については翻訳・通訳ボランティア委員会が担当。４については文化交流部会が担当。５については関連する３部会・委員会が役割を分担し、全体の実行委員長は浪花会員に決定。７については伊藤委員長が実行員長兼任。６の名称は法人化・国際センター管理業務応募検

		【協議事項】 １．国際センター管理業務応募。 【報告事項】 １．各部会等・実行委員会・会計・市から ・日Ｐ連大会協力報告。 ・コピー代増大の注意喚起。	討委員会に決定。
9/18	運営会議 協会事務所 13 名	【審議事項】 １．年末交流会の日程・場所・会費（２案を提示） ２．市民まつり実行委員長選定 【報告事項】 各部会等・実行委員会・会計・市から イングリッシュカフェ実施報告、参加者 54 名。上半期の実績から修正予算案を 10/15 までに作成・提出。	→1 月 23 日オリエンタルホテル、会費 4,000 円に決定。 →能登副会長に決定。
10/23	運営会議 協会事務所 13 名	【審議事項】 １．１/30 シンポジウム実行委員会の結成 総務部会が人手不足のため実行委員会制に。「地域の日本語教育体制整備（仮）」のテーマなので実行委員２名を日本語学習支援グループに要請。実行委員長は、実行委員会で選出。 ２．新春交流会の招待客の拡大 ３．UIFA ニュースおよび UIFA ホームページ英語版の発行 【協議事項】 理事会の議題は、UIFA 活動の PR に決定。 【報告事項】 各部会・委員会・会計・浦安市から ・（仮称）千葉県西部地区国際交流協会情報交換会への出席報告。 ・横須賀市役所国際交流課および横須賀国際交流協会訪問報告。 ・越谷市国際交流協会の UIFA 訪問報告。 ・友好の翼参加者が、現在３名、実行委員を含めても８名。 ・Dr.フィリップス高校の先生６名の歓迎パーティー 11 月 20 日（オリエンタルホテル東京ベイ）。	→１と２は原案通り可決。 ２は教育長、生涯学習部長、浦安警察署、社会福祉協議会、明海大学、浦安市医師会の代表も招く提案。 ３は担当委員会で再検討。
11/13	運営会議 協会事務所	【審議事項】 １．UIFA ニュース１月号計画	→１～３はいずれも原案通り可決。

	14 名	２．総会実行委員会の設置 各部会・委員会から実行委員を１～２名ずつ選出 ３．新春交流会の日程変更 新春交流会を 2011 年 1 月 23 日を予定していたが、他団体の行事等やむを得ない理由により、日時変更。今年は新たな趣で交流会を行うが、その内容の骨子については、運営会議の決定に従う。 ４．UIFA ニュースおよび UIFA ホームページ英語の発行 【協議事項】 １．理事会の議題と内容 全国の国際交流協会が抱える共通課題と UIFA の課題について報告することが了承された。 ２．新春交流会に関する文化交流部会との懇談（米田） 従来の年末交流会の趣を変えて新春交流会とした経緯について 11 月 5 日説明会実施。 【報告事項】 １．会計・各部会・委員会・浦安市から ・横須賀国際交流協会訪問及び横須賀市役所訪問。 ・越谷市国際交流協会の UIFA 訪問。 ・友好の翼一般応募者は現在４名。実行委員関係を含めても９名。申込締め切り日を 12 月 17 日に延期。 ・明海大学留学生 20 名のホームビジットは、台風の接近により明海大学からの申し出があり中止。 ・明海大学留学生 20 名のホームビジットは、台風の接近により明海大学からの申し出があり中止。 ・フィリップス高校生ホームステイ 受入は、UIFA だけで８家庭。１家庭あたり 2,000 円を支給するが、先生の受入家庭にも 2,000 円を支給したいとの提案が出され、全会一致で了承された。 ・フィリップス高校生ホームステイ 受入は、UIFA だけで８家庭。１家庭あたり 2,000 円を支給するが、先生の受入家庭にも 2,000 円を支給したいとの提案が出され、全会一致で了承された。	→４については担当委員会から高校生受入れで多忙なので時間が欲しいとの報告。
	理事会 市民サロン６ 20 名	【審議事項】なし。 【報告事項】 １．全国の国際交流協会の共通課題と UIFA の課題についての会長報告 ２．協会・各部会・委員会の活動紹介 ３．各団体の活動紹介 ４．市から	

12/18	運営会議 協会事務所 14 名	【審議事項】 １．NPO 法人化検討委員会の解散 UIFA の NPO 法人化検討作業を中断し検討委員会は任務を終えて解散する提案。 ２．応募検討委員会の結成 上記 NPO 法人化検討委員会は解散するが国際センター管理業務応募検討委員会として、任意団体のまま国際センター管理業務の指定管理者に応募することを検討する提案。 【協議事項】 １．2011 年度人事案 会長より「会長任期は６年、副会長・正副部会長は４年まで延長が認められているが、あたかも任期のように受け取られ、新しい人材登場の機会が減ってきている。自分も５年経過する今期で交代したいので、評価理由も挙げて次期会長を推薦願いたい」。それを受けて米田副会長、小西氏会計、藤原部会長の３名が推薦されたが決定に至らず、１月８日の新春交流会後の臨時運営会議で引き続き協議。 ２．役員への手当 外国語学習グループの会計担当は、煩雑な作業を義務づけられ引き受け手がない。今後会計担当を確保するためにも、半期で6,000円、通期で12,000円程度の手当てを支給したいとの提案。 【報告事項】 １．各部会・委員会・実行委員会から	→１と２は原案通り可決。 委員は NPO 法人化検討委員会メンバーに加え田中稔也氏も新たに参加。文化交流部会は後日　参加する委員の有無について通知。委員長は改めて互選。 改善案は「現実には会長が実質事務局長の代行。この業務ができる人が会長をやった方がよい」と「事務局長を任命し会長の負担を減らすべきである」に集約された。 →賛成６、反対５で可決。
1/15	運営会議 協会事務所 14 名	【審議事項】 なし。 【協議事項】 １．役員人事 1.1 会長人事 米田副会長から「１月８日の臨時運営会議で会長人事が決定できなかったので全て白紙に戻して本日の運営会議で協議する。徳田会長が定められた任期を全うしてくれれば解決する」と説明。運営会議メンバー全員の意見開陳の跡、会長から「新会長適任者が次々と辞退されたこと、今後の重要案件を抱えているることから来年度も継続させて	

		いただく」との決意表明があり１年間の続投が決定した。 1.2 副会長人事 能登副会長は、任期満了で辞任。田中智恵子副会長は、１年との約束で引き受けたと意思表示し辞任。米田副会長は、残任期１年を継続すると意思表示。 残り２名の副会長について越部会長､藤原部会長、小西会計の３名が推薦され、２名連記での投票を行った結果、藤原氏と小西氏が総会での候補者に決定した。 1.3　本部会計人事 小西会計からの次期の会計候補者推薦依頼 ２．総会準備 米田副会長から、総会の準備のため実行委員を募ってきたがいまだに応募がなく、再度依頼。文化交流部会から交流会について手伝うと申し出。 ３．役員任期と手当て 役員のなり手が少ない現状に鑑み、役員の負荷を平準化するため、役員任期を原則１期として２期以上の場合に手当てを出す一案が米田副会長から提示され､さらなるアイデアの提案が依頼された。 【報告事項】 １．会計・各部会等・浦安市から UIFA 事務所の家主から４月 10 日までに移転して貰いたいとの申し出があり UIFA と市と一緒に移転先を検討。	
２/19	運営会議 協会事務所 14 名	【審議事項】 １．新事務所の選定 急遽移転先となる物件を探し候補として以下の二か所に絞り込んだ。 Ａ．A.冨士見３丁目舞浜倶楽部１階（71 ㎡）家賃 10 万円。 Ｂ．.海楽１丁目 TM ビル３階（65.87 ㎡）家賃 14 万円。 ２．UIFA ニュース４月号計画 ３．（緊急審議事項）事務所移転実行委員会結成 【協議事項】 １．総会準備 総会実行委員会議事録（第１回１月 20 日、第２回２月 14 日）に沿って検討内容が説明され、文化交流部会からも実行委員を出し、文化交流部会担当の交流会の計画を実行委員会で議論すること	→１は審議の結果、Ｂ候補を選択。 →２と３は原案通り可決。実行委員長に小西会計を任命。

		とした。 ２．創立 25 周年事業 協議の結果、創立 25 周年事業の実施を決定。 【報告事項】 各部会・委員会・実行委員会・検討委員会から ・１月 30 日（日）のシンポジウム「日本語教室のゆくえ」は 75 名が参加して盛況。 ・１月 16 日の国際交流・協力フェスティバルで NHK・ディレクターから学習者外国人の NHK スタジオへの公開番組参加の誘いがあった。 ・明海大留学生交流は 19 名の留学生が参加。 ・青少年海外派遣事業のお茶・着物の着付けに、15 名の中高生が参加。 ・第 18 回友好の翼は、２月 16 日出発。 ・３月 27 日（日）９：30 から国際センターでホームステイ受入れ希望家庭への説明会を実施。 ・３月１日～３月 31 日まで国際センターで「UIFA の教育交流支援」実績の写真展示。 ・四街道市から国際交流協会設立準備のため、その準備関係者５名が事務所に来訪された。	→５年ごとに記録をまとめる意義が強調された。 →展示に関する国際センターとの調整は小西会計、準備は三役で実施。
3/19	運営会議 協会事務所 14 名	【審議事項】 １．UIFA 創立 25 周年記念事業 2006 年から 2010 年までの激動の５年間をまとめた記念誌作成、及び「記念行事のための記念行事」ではない実のある記念事業・イベント実施の提案。 ・記念誌は、会長と長坂桂子氏を中心に纏める。 ・記念行事は、次期計画担当副会長に予定されている藤原氏を責任者とし、在住外国人子弟の防災体験（案）や講演会（案）が考えられている。 ２．2011 年度事業案（各部会長・委員長が説明） ３．2011 年度事業案・予算案（小西会計） ・今回の新事務所への移転（一部３月 23 日午後、３月 25 日移転完了）に伴い、来年度の本部経費増加約 80 万円および 25 周年記念事業等（記録の整備、イベント合計で 10 万円）等見込まれる。 ・上記事情を斟酌し、来期の各部会等の予算案を再検討し、今年度３月末での収支実績をベースに予算修正案を来る３月 25 日までに提出乞う。 ４．2011 年度会計・各部会・委員会人事案 ・外国語グループ：変更なし。 ・日本語グループ：変更なし。 ・文化交流部会：変更なし。 ・姉妹都市交流部会：部会長原田光氏、副部会長、	→原案通り可決 →小西会計の提案通り可決

		会計は変更なし。 ・総務部会：部会長は副会長が兼務する。副部会長は織内氏または米田氏。会計は大野氏。 ・　ホームステイ・ビジット委員会：変更なし。 ・翻訳･通訳ボランティア委員会：白木委員長欠席のため、後日確認要。 ・会計：小西氏より、UIFA 全体の流れの中で会計をやるので全体を把握している田中智恵子氏にお願いしたいと提案。 【協議事項】 1．2011 年度総会日程 総会　　13：00～14：00　文化会館中会議室 交流会　14：10～16：10　文化会館大会議室 とする。 2．2011 年度総会 3 月 23 日の総会実行委員会後、検討を大野氏に委任。その後の交流会検討を文化交流部会に委ねる。 3．新事務所への引越し 新事務所への引越し予定、新事務所備品リスト（購入備品含む）、新事務所レイアウトが説明。 ・23 日（水）コピー機、PC、電話を移設。 PC1 台を現事務所に残し、31 日(木)まで J:COM との接続を継続する。 ・25 日（金）全体の引越し。各部会等の準備を指示。 4．国際センター指定管理者応募検討結果 田中実行委員長より経過報告後、徳田会長より思考過程に基づき、応募理由の説明。 「外国人市民の日常生活を支援するとともに国際交流協力に関する情報提供・発信の場、さらに相互交流の場となる拠点」という市の目的・目標を満たすため、応募する準備を整えたい。 【報告事項】 1．各部会・委員会・実行委員会・検討委員会から .・翻訳・通訳ボランティア委員会は、市役所等からの依頼に対して昼食費・交通費等含めどのように対応するかについてガイドラインを作成することとした。 2．会計から 第４四半期の会計報告の督促。	→伊藤委員長の補佐役を公開募集 →固辞されたが、適任者が現れなければ受けていただくこととなった。 →引越しについてはすべて了承された。 →実際には４月４日に完了。４月５日に旧事務所明け渡し。 →更に検討を進めて行くことが了承された。 →国際センター閉鎖のための行事中止や計画変更の報告が主であった。

言 語 学 習 部 会

部会長　藤原　豊太郎　副部会長　田中　稔也
会計　田鎖朋子、安藤節子（外国語）合田洋、大沢利衣（日本語）

一年を振り返っての感想

外国語学習グループの活動

2010 年度は、前年に引き続き、英語講座７講座、その他の外国語講座８講座、合計 15 講座を開設しました。受講生は前期 193 名、後期 224 名でした。

当講座では、英語以外の言語を８講座開設していることが特徴であり、昨年も、ハングル、中国語、フランス語、スペイン語、イタリア語などの受講生が大幅に増加しています。一方、ベトナム語、インドネシア語、ロシア語については、更に受講生の数を増やしたく、一般市民に対し、より積極的なＰＲ活動を展開していきます。

「語研フェスティバル」は、2011 年度は 11 月 27 日に WAVE101 で開催予定でしたが、３月の東日本大震災発生のため、受講生の日常生活が未だ正常に戻らず、従い今年度は中止を決定し、来年度以降に先送りします。

この講座は、受講生自らが講座の運営に必要な業務を行うことを前提に運営されていますが、受講生全てにこの考え方が浸透しているとは言えず、実際には一部の人に過大な負担がかかる状況が現在も続いています。これは、講座の期間を原則２年としているので、在籍期間が２年程度の短期間の人が多く、運営に関する経験や知識を蓄える期間が不十分なことも一因です。

講座 Coordinator（ボランティア）に対して、継続登録の際、便宜を与えるなど積極的なインセンティブを導入する必要があります。

日本語学習支援グループの活動

2010 年４月に新規開設した金曜午後中級クラス教室は、授業前半をグループ全体でのディクテーション、ディスカッションにあて、後半をマンツーマンの授業とする学習形態がほぼ定着してきました。

2011 年１月 30 日に行われた「シンポジウム日本語教室のゆくえ」には 75 名（内 10 名は市外から）の参加者があり、日本語教室への関心の高さが窺われました。

新規ボランティアを募集するための入門講座は従来の３時間×２日のコースを、本年度２回目は３時間×３日として内容の充実を図りました。入門講座受講者は年２回合計で 63 名となり、内 32 名が新規ボランティアとして登録しました。

2011 年４月には新事務所となり、場所が大幅に広くなったので中断していた火曜午前教室を再開すべく準備します。

外国語学習グループの主な活動

月日	活　　動	活動内容と成果
通年	外国語講座の開講 前期・後期、各 15 回、１回１時間半の有料講座を開催	次の９言語 15 講座を開講した。開講講座は、ベトナム語、ハングル、中国語、インドネシア語、ロシア語、フランス語、スペイン語、イタリア語、英語会話入門、ネイテイブの使う英語表現、身につく実用英会話、初級英会話、中級英会話、上級英会話、時事英語入門であった。参加人数：前期　193 名、後期　224 名。
3/27 ～28	前期（４月～９月）受講生募集受付	2010 年度は、２年制の初年度であり、申込受付 193 名。
6/27	講師・受講生代表懇談会	出席者は講師　10 名、Coordinator 19 名。 講師ならびに外国語グループ新役員の紹介、今年度の年間予定・実施方法などについて講師に説明した。 講師よりの要望を聴取し、その後全員で昼食を共にした。
9月	講座見学会	10 月の受講生募集に備えて、受講希望者を対象に、各講座各１回見学会を開催した。今回からは事前受付を省略したが、この変更により、担当者の作業量を大幅に削減できた。
9/25 ～26	後期受講生募集受付	前期からの継続受講生及び追加受講生の募集を行った。 申込受付 224 名。
10/ ～16	部員研修会	2010 年度は語研フェスティバルを見送ったが、受講生の士気を高めるため、ワインの勉強会を開催し、受講生 Coordinator 中心に 30 名が参加した。
2月	講座見学会	2011 年度前期の受講生募集に備えて、受講希望者を対象に、各講座１回ずつ見学会を開催した。インドネシア語のみ２回。
4/23 ～24	2011 年度前期受講生募集受付	地震のため、募集を４月末にずらして実施し、開講は５月中旬よりスタートする。

日本語学習支援グループの主な活動

1．日本語学習支援教室の活動実績

年間 460 回の教室が開催され、延べ参加学習者は 2,300 人となりました。

教室別、月別参加人数：

教室名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月曜午前	回数	4	4	4	3	5	3	3	5	4	3	4	1	43
	支援者	29	26	31	24	35	18	14	24	22	14	14	4	255
	学習者	28	26	31	20	32	15	11	19	21	12	11	3	229
月曜夜	回数	4	3	4	3	5	4	3	5	4	2	3	1	41
	支援者	25	28	27	20	28	21	20	30	20	17	19	3	258
	学習者	30	24	26	17	34	19	20	29	21	13	19	1	253
火曜午前	回数	2	3	4	4									13
	支援者	2	6	8	6									22
	学習者	2	6	8	6									22
火曜夜	回数	4	3	5	4	4	4	4	3	3	4	4	2	44
	支援者	22	18	31	16	17	25	20	14	16	11	7	7	204
	学習者	22	16	26	12	12	21	15	9	10	7	5	4	159
水曜午前	回数	4	3	5	4	4	5	4	3	4	3	4	2	45
	支援者	26	26	41	30	31	43	36	31	40	26	37	13	380
	学習者	26	26	42	28	29	32	34	29	38	24	35	15	358
水曜午後	回数	4	4	5	4	4	4	4	4	4	3	4	2	46
	支援者	18	15	19	10	5	8	8	6	9	6	6	4	114
	学習者	23	20	27	13	5	8	8	6	9	6	6	4	135
木曜午前	回数	4	4	4	5	4	4	4	4	3	4	4	2	46
	支援者	12	18	19	19	8	13	16	16	14	18	19	12	184
	学習者	12	17	19	16	6	12	16	12	12	16	17	11	166
木曜夜	回数	4	4	4	5	3	4	4	4	3	4	4	2	45
	支援者	31	29	27	40	21	41	34	33	20	23	32	12	343
	学習者	24	28	27	38	21	38	31	32	17	19	30	11	316
金曜午前	回数	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	3	2	47
	支援者	20	23	26	39	25	31	46	33	36	41	27	13	360
	学習者	19	19	18	35	25	29	42	34	38	32	19	11	321
金曜午後	回数	4	4	4	4	3	4	5	4	4	4	3	2	45
	支援者	20	18	21	15	11	21	25	19	20	20	12	8	210
	学習者	12	10	13	14	3	8	20	15	15	17	10	8	145
金曜夜	回数	4	4	4	5	3	4	5	4	4	4	3	1	45
	支援者	22	21	16	20	14	22	30	24	23	15	17	5	229
	学習者	22	18	13	16	12	20	30	27	24	14	16	6	218
合計	回数	42	40	47	46	39	40	41	40	37	35	36	17	460
	支援者	227	228	266	239	195	243	249	230	220	191	190	81	2,559
	学習者	220	210	250	215	179	202	227	212	205	160	168	74	2,322

２．研修講座（担当：深井秀子、友部順子　場所は全て国際センター研修室）

講座名	講師	日程	時間	受講者数	学習支援者への登録数
入門講座（１）	松本明子先生（千葉市国際交流協会講師顧問）	６月 12 日（土） ６月 20 日（日）	13：30～16：30	24	12
スキルアップ講座	片桐史尚先生（明海大学教授）	11 月 14 日（日）	17：30～20：30	21	
入門講座（２）	松本明子先生（千葉市国際交流協会講師顧問）	２月６日（日） ２月 13 日（日） ２月 20 日（日）	10：00～13：00	39	21
スキルアップ講座	松本明子先生	３月 20 日（日）	東日本大震災のため中止		

３．シンポジウム日本語教室のゆくえ：１月 30 日（日）国際センター（総務部会と共催）

文化審議会会長の西原鈴子氏の基調講演「日本語教育のあり方」と学習者２名も参加したパネルディスカッション「ボランティア教室の現状と将来」で構成されたシンポジウムには 75 名が参加し大盛況でした。55 名が回答したアンケートでは「非常によかった」と「よかった」を加えた比率は基調講演 93%、パネルディスカッション 85%で非常に好評でした。

４．日本語学習支援グループ交流会：11 月 28 日(日)　10：30～14：30　美浜公民館大集会室

島野圭司実行委員長

11 の日本語教室の学習者とボランティアが年１回一堂に会しての恒例行事です。今年は 120 余名が参加し、10 名の精勤賞授与、合唱、折り紙、ジェンカじゃんけん、ビンゴ等楽しい一日を過ごしました。

５．国際交流・協力フェスティバルに参加：１月 17 日（日）　ショッパーズプラザ

２階通路の展示には日本語教室風景と教室一覧表のパネルを飾り２月６日から始まる入門講座の案内チラシを設置しました。１階メイン会場のブースには教室、講習会の写真パネルを展示し、深井、友部、宅美の３名が交代で来場者への日本語教室の説明と入門講座の勧誘に当たりました。

６．日本語グループホームページ　担当：大沢利衣氏

ホームページのデザインを一新しました。日本語教室活動をより多くの方に知ってもらうように月例会の議事録、ボランティア通信を掲載し、日本語教室の学習者募集状況も空席が生じるたびにお知らせするようにしました。ボランティアの自己啓発のために去年度の「日本語指導力向上講座」の講義録をはじめとして研修、講座の聴講記も載せています。教室の親睦のためのイベント（七夕、料理教室、クリスマス会等）の楽しい写真も掲載しています。

７．その他の活動

月日	教室・場所	内　容	活　動
４/～	日本語教室	往復はがきによる問い合わせ	休止ボランティアの活動確認葉書を 77 通発信。９名が教室活動を再開。
４/17	美浜公民館	４月定例会	新旧教室リーダー、役員の交替
５/18	船橋中央公民館	研修会	船橋市国際交流協会の「日本人ボランティアのための日本語教育研修」に UIFA より６名が参加。
５/27	明海大学	留学生歓迎	特別聴講学生の歓迎会。廣江、藤原参加。
６/３	明海大学体育館	みんなでフットサル	青年会議所との共催事業。学習者とその家族、ボランティア 27 名が参加しフットサルを楽しんだ。
７/～	ホーム頁	ボランティア通信	ボランティア通信 22 号７月号を発行。
７/12	月曜午前教室	課外活動	学習者による５カ国お料理の会。
７/27	船橋中央公民館	講義	聖徳大学北村教授の講義「日本語ボランティアの質問に答える」。UIFA より２名参加。聴講記(須田)を HP に掲載。
８/２	月曜夜教室	課外活動	富岡教室の食べ物持ち寄りによる交流会。
８/４	明海大学	留学生送別	特別聴講学生のお別れ会。廣江、守田、藤原参加
８/27	東京女子大	文化庁	「平成 22 年度文化庁日本語教育大会」に UIFA より２名参加。内容を HP に掲載。
９/～	日本語教室	アンケート	獨協大学戸田なつきさんの日本語教室に関する卒論のためのアンケートに協力。
10/～	ホーム頁	ボランティア通信	ボランティア通信 23 号 10 月号を発行。
10/～	日本語教室	浦安市観光案内	外国人向け「浦安観光ガイドブック 2011」の取材に協力。学習者５名が紙面を飾る。
10/19	金曜夜教室	課外活動	高洲公民館調理室にてパン焼き会。
11～12月	船橋市国際交流協会	講習会(11/29、12/６、12/13)	船橋市国際交流会主催文化庁委託事業「地域の外国人と共に暮らすために～地域参加のための日本語支援～」の講習会に UIFA より６名が参加。聴講記を HP に掲載。
12/８	月曜午前教室	課外活動	美浜公民館料理室で祭り寿司講習会、講師高橋祥子氏。
12/21	火曜夜教室	課外活動	当代島公民館教室茶話会。
１/14	金曜午前教室	課外活動	新年会(福笑い、二人羽織　他)。
２/３	木曜午前教室	課外活動	「巻き巻き料理会」：ベトナム人学習者から生春巻きを教わり、加えて日本ののり巻きを作る。
３/22	日本語教室	事務所引越し	新事務所へ引越しのため蔵書、備品の梱包(宅美、須田、藤原)。
３/28	日本語教室	臨時月例会	国際センター再開に伴い、震災以降休講していた国際センターの日本語教室を４月１日より再開を決定。当代島、富岡公民館教室は再開目途立たず。

文 化 交 流 部 会

部会長　越　茂樹　　副部会長　森光　修
会　計　城戸　励二

一年間を振り返っての感想

日本、外国、どこの国でも古代からその国の地理的条件によって与えられた気候・風土による生存環境や周辺の国々との関わりによって起きる様々な政治的・社会的・宗教・風俗の歴史的な変遷、そして国内での支配層と民衆との共存への努力や時代々々の国際的な流行など永い世代を積み上げられた変化を繰り返して自然に成り立って来た固有の「文化」を有しています。現在、国際化時代と言われています。それは昭和前期に世界から孤立・対立して遂には無謀な大戦を仕掛け、最後は国土が焦土となり惨めな敗戦に陥った、今から思うと正気とは思えない歴史を我々は持っています。それに対する深刻な反省から外国との良好な交流なしに日本だけの独自の生き方では決して平和も繁栄もあり得ないという事から国際化という考え方が起こった思い、そして各国の文化を理解し合い尊重し合うのが国際化時代の基本姿勢と思います。

国際化時代となり全国に国際交流協会が出来ました。浦安市にも UIFA が創設され活動を展開しています。国際交流事業の本質は民衆による草の根交流です。政治でも外交でも学術・研究でもなく地位や肩書でもない等身大の浦安市民と外国の人々との多文化交流を意味します。

浦安市民と市内に住むあるいは当市に来られた外国の人達との交流は幾つもの形がありますが、やはり冒頭に触れたように夫々の国の文化を紹介し又は学習する機会を作るのが第一で文化交流部会はその分野を主体に活動しています。当部会の活動は現在のところ主に浦安在住外国人会、明海大学留学生との交流と世界各国の国情・歴史・文化などを紹介する講演会を大使館から講師を派遣してもらい毎年実行しています。

また例年高校・中学生を姉妹都市へ派遣する市の行事の一部として派遣生への日本文化体験を代表的なものから和服の着付けや茶道の初歩の指導を実施し、又他の全体事業への協力・参加等を行っています。以上概略ですが当部会の現状を説明させて頂きました。

最後になりますが、今年度の事業を恙無く遂行することが出来た各事業にサポートをされた皆さんを紹介させていただきます。

日本文化には代表的なものとして、和服の着付け・茶道・書道・画・日本料理・日本の音楽や歌・日本の遊び・日本の文化的な遺跡や記念として保存されている建築物・庭園などで、毎年の企画で紹介して来ましたその時々に協力をお願いしている専門分野の同好のグループの皆さん達が多数おられます。其の内昨年にご協力を頂いたサークルやグループをご紹介しますと「婦人の会の踊りのグループ」、「太鼓サークル」、「着付けの皆さん」、「茶道のサークル」等ですが、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

月日	活　　動	活動内容と成果
4/3 （土）	明海大学留学生との花見の会	桜花を愛でる日本文化を体験しながら留学生との交流を図る。 場所：ふれあい公園（弁天）。 参加者：留学生 18 名、UIFA 関係者 20 名、計 38 名。

4 /14 （水）	定例部会開催	H22 年度文化交流部会の事業の検討 ①明海大学留学生と七夕会の開催について ②外国紹介の講演会について ③UIFA/UFRA 合同日帰り研修について 場所：UIFA 事務所、出席者：６名
4 /28 （水）	臨時定例部会開催	新部会長・副部会長・会計業務の引継ぎ会議 部会長：越茂樹、副部会長：森光修、会計：城戸励二 ①明海大学留学生交流事業「七夕会」の摺合せ 実施日：７/３（土）、場所：明海大学ホール 定員：30 名 ②UIFA/UFRA 共催日帰り研修事業 実施日：７/11（日）、行先：谷中～上野史跡めぐり 参加者：43 名 場所：UIFA 事務所、出席者：６名
4 /30 （金）	部会業務引継ぎ開催	・部会長、副部会長実務業務細部引継ぎ （４/28 の臨時定例部会を受けて） 場所：国際センター、出席者：３名
5 / 6 （木）	定例部会開催	①明海大学留学生交流事業「七夕会」内容の確認 ②外国紹介講演会事業の内容確認 ③UIFA/UFRA 共催日帰り研修会の内容確認 場所：国際センター、出席者：６名
6/2 （水）	定例部会開催	①外国紹介講演会の進捗状況の報告 ②明海大学留学生との七夕会の開催日程について ③在住外国人交流日帰り研修事業の開催概要について （同事業の下見の日時、コース、募集人数、募集告知） 場所：国際センター、出席者：６名
6/10 （木）	在住外国人交流日帰り研修事業のコースの下見	UIFA：永末、小芝、森光、UFRA：平山会長 場所：谷中～上野界隈史跡めぐりコース、参加者：４名
6/28 （月）	定例部会開催	・明海大学七夕会について （実施要領、参加状況、応援体制、役割分担等の確認） ①在住外国人交流日帰り研修事業について （参加状況、実施当日の引率体制等の確認） ②外国紹介講演会について （交渉/進捗状況の確認） ③部会のパワーの分析と活動対応について
7/3 （土）	明海大学留学生交流事業 「七夕の会」	（地域交流サロン、青少年派遣事業への対応を検討） 場所：UIFA 事務所、出席者：８名 浴衣着付け、七夕笹飾り、和太鼓演奏、盆踊りなど夏の行事を通して日本文化を紹介、交流を図る。 場所：明海大学 30 周年記念会館 参加者：73 名（留学生、UIFA、サポーター等）

7/11 （日）	在住外国人交流事業（日帰研修ツアー　UIFA・UFRA 共催）	谷中～上野界隈文化史跡めぐり 参加者：43 名（UIFA、UFRA、市民等）
7/20 （火）	定例部会開催	①クロアチア共和国紹介講演会について （日時、会場、及び同国の資料、講演資料の確認） ②同講演会の応募チラシ/応募対応準備/関係団体への協力依頼（AA ネット、ライオンズクラブ等） 場所：国際センター、出席者：７名
8/5 （木）	定例部会開催	①外国文化研修事業（クロアチア共和国紹介講演会） ②地域交流サロンの取組みについて 場所：国際センター、出席者：８名
8/23 （月）	会計会議開催	【議事】 ①本部会計処理の基本的な方針について（小西会計担当） ②部会事業案及び予算案の策定について 場所：国際センター、参加者：４名
9/18 （土）	外国文化研修事業実施 ①駐日クロアチア共和国大使館三等書記官/領事イリス・リュビチッチ氏 英語による講演会 「クロアチア共和国ってどんな国？」（日本語通訳付） ②ウボイ合唱団の合唱	イリス・リュビチッチ三等書記官が国旗の由来、気候風土、地理、歴史、産業、教育など一般事情をスライドを使い講演。会場に入りきれない程の参加希望があり、当日の飛び込み来場者にはお断りをした。講演会後国際センター研修室にて文化交流部会員と茶話会を持った。 場所：市民プラザ WAVE101 中ホール 参加：93 名（講師、UIFA、UFRA、市民等） 協力：浦安男声合唱団 15 名（クロアチアの歌を合唱）
10/6 （水）	定例部会開催	①第２四半期会計報告 ②クロアチア共和国紹介講演会の評価 ③来期予算と事業内容について ④明海大学留学生交流事業「お正月会と着付けの会」 ⑤国際交流・協力フェスティバル ⑥青少年海外派遣事業 場所：国際センター、出席者：８名
10/13 （水）	文化交流部会打合せ	①国際交流・協力フェスティバル/青少年海外派遣 ②講演会のアンケート実施（32 名回答） ④講演会についての評価 ⑤年末交流会への対応について 場所：国際センター、出席者：８名
11/5 （金）	定例部会開催	①年末交流会の新しい試みの新方針についてディスカス（米田氏、能登氏、小西氏の三役及び年末交流検討委員が出席） ②明海大学留学生交流事業「お正月会と着付けの会」 ③国際交流・協力フェスティバル ④青少年海外派遣事業 場所：UIFA 事務所、出席者：９名（部会）

12/1 （水）	定例部会開催	①国際交流・協力フェスティバル/明海大学（お正月会と着物着付けの会） ②青少年派遣海外事業への対応 ④来年度事業と予算について ⑤年末交流会の本部方針に対する部会見解のまとめ 場所：国際センター、出席者：８名
1/5 （水）	臨時定例会開催	UIFA 会長選任につき検討 場　所：国際センター 出席者：７名
1/16 （火）	国際交流・協力フェスティバル事業に参加	・部会紹介のパネル展示、スタンプラリークイズ等準備 ・UIFA ブース立ち寄り 55 名 場所：ショッパーズプラザ１Ｆ/２Ｆ、部会員全員 10 名
1/22 （火）	明海大学留学生交流事業 　お正月の遊びと着付けの会	百人一首、カルタ遊び、和紙人形栞作成、振袖・袴着用体験を通して日本文化に触れる。 場　所：美浜公民館 参加者：40 名（留学生 19 名、UIFA、着付け髪結サポーターなど 21 名）
2/13 （日）	青少年海外派遣事業 日本文化体験	オーランドへ派遣される中高生が茶道と振袖・袴の着付け体験 場所：文化会館和室 参加：32 名（中学生 15 名、着付８名、髪結１名、茶道　４名、UIFA４名）
2/14 （月）	青少年海外派遣事業 日本文化体験	・着物、茶道具等の片づけ 場所：市役所、参加者：４名
3/30 （水）	定例部会開催	①H22 年度決算の確認 ②総会資料の作成について ③総会後の「UIFA 創立 25 周年記念交流会」設営について ④UIFA 規約改正案提出について 場所：国際センター、出席者：６名

姉 妹 都 市 交 流 部 会

部会長　重松　清弘　副部会長　長尾　誠　会計　長尾　砂智子
実行委員　原田　光、立山　豪、椎名　光子、西澤　芙紗子、醍醐　佑希
松崎　玲希、浪花　千裕、辻村　聖子

一年を振り返っての感想

新年度に入った矢先の５月１日、長きにわたり友好の翼活動に尽力された当部会の佐藤昌利さんが急逝されました。ここに心からご冥福をお祈りいたします。

「第 18 回友好の翼」第１回実行委員会は７月からスタートしました。前回第 17 回での米北東部悪天候による予期せぬ日程変更に伴う費用の変更に対する契約書での明文化やオーランドへの訪問時期についても検討が加えられた。その後の準備作業は順調に推移したが、10 月に「広報うらやす」等を通じて募集した結果、参加者は 16 名となりました。これは友好の翼事業始まって以来最少の数であり、今後友好の翼を進めていく上において着目すべきところであると思います。

「第 18 回友好の翼」は 2011/２/16～23 日で実施されましたが、今回の訪問で特に感じたことが二つあります。一つは、訪問したオーランド市役所を始め老人ホーム、小学校、図書館、歴史博物館の全てにおいて夫々の責任者から心のこもった丁重な挨拶を受け、今までにない積極的な歓迎を受けたこと、二つは、ドクターフィリップス高校でのジャパンナイトでは 300 名を越える生徒や父兄が参加してくれたこと。今までの中でこれだけ多くの人たちが　参加してくれたのは初めてではないかと思います。ジャパンナイトを担当している同校の先生は、これからもジャパンナイトを重要行事として積極的に対応していきたいとのお話がありました。今までの友好の翼による市民交流の積み重ねがここに来て着実に軌道に乗り，前進していると感じました。

月日	活　　動	活動内容と成果
4/3	姉妹都市交流部会・部会議	部会の新年度体制及び新年度の行事予定について話し合った。 部会長に重松氏が再選された。
5/8	姉妹都市交流部会・部会議	「第 17 回友好の翼」帰国後アンケートの分析をした。 UIFA 総会の準備・打合せをした。
6/12	姉妹都市交流部会・部会議	「第 18 回友好の翼」実行委員会立ち上げが決議された。
7/10	姉妹都市交流部会・「第 18 回友好の翼」第１回実行委員会	実行委員長に重松氏が選ばれた。 「第 18 回友好の翼」コンセプト（概略）を決定した。 旅行代理店に提示する見積基準を決定した。
8/21	第２回実行委員会	旅行代理店５社から提出された見積書を検討した結果、近畿日本ツーリストに決定した。
9/11	第３回実行委員会	友好の翼の募集活動等これからのスケジュールについて話し合った。 オリエンテーションの場所を富岡公民館に決定した。
10/9	第４回実行委員会	10/１「広報うらやす」等に募集記事掲載後、この時点で参加者は７名。 更なる募集活動について話し合った。
11/6	第５回実行委員会	参加者応募状況について話し合った。この後、参加者に対する第１回オリエンテーションを実施した。

12/11	第６回実行委員会	この時点で参加者は 14 名となった。この後、第２回オリエンテーションを実施した。ジャパンナイトの企画について話し合った。
1/8	第７回実行委員会	この時点で参加者は 16 名となった。この後、第３回オリエンテーションを実施した。盆踊りの練習を開始した。
1/22	第８回実行委員会	実行委員による全体的な打合せ後、第４回オリエンテーションを実施した。その中で、人形交換セレモニーに関する説明を行った。
2/6	第９回実行委員会	第５回最終オリエンテーションを実施し、実行委員長より日程表に沿って滞在中の行動の最終確認がなされた。
2/16～23	「第１８回友好の翼」の実施	参加者 16 名プラス添乗員１名にて出発した。計画したとおりの日程をこなし、友好・親善の旅を終えて全員無事にて 23 日 17 時半文化会館に帰着した。
3/4	親善人形交流	ファーンクリーク小学校から託された親善人形「Miss Katie Fern Creek」を東野小学校に届けた。

親善人形交流グループ

グループ長　辻村聖子　副グループ長 山上晁子　会計 長崎佳江
グループ員　大野佑子・長坂桂子・宇田川雅子・松田安枝・栗林志津子・山田恵子・石塚久仁子

一年を振り返っての感想

1995 年姉妹都市交流５周年式典の中で「21 世紀の親善人形交流」宣言し、1927 年の［友情人形交流］の浦安版をスタートして 15 年目の節目の年でした。今年の親善人形交流で浦安から姉妹都市オーランド・カナダ・メキシコ・オーストラリアなどに送られた人形は 39 体、各地から浦安に届いた親善人形は 30 体目となりました。

「友情と平和のシンボルである親善人形交流をさらに進め、今までの交流校との交流の手助けを進めていく役割をしっかりと担っていかなければならないと再認識した年でもありました。今後も会員間の交流を深め、親善人形制作と通して、市内の学校及び海外の交流校の関係を大切にしていきたいです。

月日	活　動	活動内容と成果
4/5、19	定例会	今年の方針を話し合った。
5/10、24	定例会	親善人形制作。
6/24	定例会	親善人形制作。
7/5、26	定例会	親善人形制作。
8/	夏休み	
9/6、27	定例会	フェスティバルに向けて手作り小物の制作に入った。新しい親善人形の浦安側の交流校を東野小学校と決定、打ち合わせに入った。
10/4、18	定例会	新親善人形完成。
11/1、15	定例会	
12/6、13	定例会	東野小学校に親善人形を届けた。
1/14、16	定例会 ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ	新しい親善人形が東野小学校の生徒の投票で「東野小町」と名付けられた。浦安国際交流・協力フェスティバルに参加した。
2/14	友好の翼	「第 18 回友好の翼」で「東野小町」を Fern Creek Elementary School に届け、Miss Katie Fern Creek を預かった。
3/7、28	定例会	市民団代表と一緒に Miss Katie Fern Creek を東野小学校に届けた。その後の両校の交流をサポートした。

第 18 回友好の翼プログラム

	月日	行事・行動	現地時間	交通機関	備考	食事
1 日 目	2011 年 2 月 16 日 （水）	浦安市文化会館集合 浦安総合駐車場発 成田発 ワシントン D.C.着 同発 オーランド着 ホテルにて夕食	07:40 08:00 11:10 09:40 12:24 14:43 19:00	 専用バス NH002 NH7114 専用バス	 集合、出発式、成田空港へ 成田出発後、ワシントン D.C. にて入国手続き後、 国内線にてオーランドへ オーランド空港到着後、ホテルへ International Palms & Resorts Tel (407)3513500	 昼：機内 夕：レストラン
2 日 目	2 月 17 日 （木）	終日公式行事 ホテル出発 エオラ湖散策 ダウンタウン発 市庁舎訪問 オーランド市長表敬 ランチ休憩 Retirement Facility ホテル帰着 ホテル出発 Dr. Phillips 高校 JAPAN NIGHT ホテル帰着	 09:00 10:30 11:00-11:30 11:30-13:30 14:00-15:00 15:30 17:30 18:00-21:30 22:00	 専用バス	 記念撮影 Commissioner /Tony Ortiz Baptist Terrace/Janet Legassie	朝：ホテル 昼：なし 夕：なし
3 日 目	2 月 18 日 （金）	ホテル出発 人形交換（公式行事） ランチ休憩 Orange County Library Sara L. Brown O.C.R. History Center Diane Masciale ホテル帰着	08:00 09:00-11:00 11:00-13:00 13:15-14-15 14:30-15:30 19:00	 専用バス	 Fern Creek Elementary School Principal Galatowitsch その後自由行動 OP：ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート アニマルキングダム ディズニー・ハリウッド・スタジオ マジックキングダム エプコット	朝：ホテル 昼：なし 夕：なし
4 日 目	2 月 19 日 （土）	終日自由行動 ホームビジット	 10:00 ホテルで待合せ		 希望者のみ	朝：ホテル 昼：なし

					OP : ユニバーサル・オーランド・エスケープ OP : シー・ワールド・オブ・フロリダ OP　: ショッピングモール　ミレニアム	夕 : なし
5日目	2月 20 日（日）	終日自由行動			OP : セント・オーガスティン日帰り観光　　（米国最古の町） 26,000 円（昼食含む）　*最少催行人員 10 名	朝 : ホテル 昼 : なし 夕 : なし
6日目	2月 21 日（月）	終日自由行動 打上げ夕食会 「花水木」			OP : ケネディ宇宙センター日帰り観光 14,000 円（昼食含まず）　*最少催行人員 10 名 OP : ルー・ガーデンとオーランド美術館	朝 : ホテル 昼 : なし 夕 : レストラン
7日目	2月 22 日（火）	オーランド発 シカゴ着 同　発	07:00 08:57 10:45	専用バス UA998 NH0011	オーランド空港へ 帰国の途へ ＜機中泊＞	朝 : BOX 昼 : 夕 :
8日目	2月 23 日（水）	成田着 浦安市文化会館着	15:00 17:00 頃	専用バス	着後解散	朝 : 機内 昼 :

総　務　部　会

部会長　　米田　喬　　副部会長
会　計　米田　喬

一年を振り返っての感想

総務部会は、協会としての基本的な活動を行なう部会や委員会で行なわない業務を一手に引き受ける所です。本来は、部会や委員会で行なうべき基本的な活動であってもそれを引き受ける所がなければ、総務部会で引き受けます。その一つが市内の在住外国人との交流活動です。そして始めた「在住外国人のための地域交流サロン」は、初年度から 21 回に及びました。在住外国人との交流事業は、今後、ますます重要性を増してくる分野と思います。3 月 11 日の東北大地震における在住外国人の混乱振りを見てその感を強くしました。しかし、何でも屋の総務部会でやっている限りは、片手間仕事になってしまいます。本来活動として引き受ける部門が欲しいと思います。

総務部会の悩みは、人手が極端に少ないことです。そのため、事ある毎に実行委員会を組織しなければなりません。一時的なイベントに対しては、それもいいかもしれませんが、定常的な業務になってくると部会員が専属でやらなければなりません。典型的なものが広報です。UIFA ニュース、ホームページ、UIFA メール便、総会資料等の作成・運営となります。同じ様なものに、各部会・委員会の会計業務があります。ボランティアでの引き受け手がいなければ、有償化も考える必要があるのではないかと思います。

月日	活　　動	活動内容と成果
4/1 4/17	UIFA ニュース 93 号発行 浦安青年会議所共催・協力事業実行委員会設置 アフガニスタン高校生ホームステイ実行委員会設置	1,400 部印刷、発行、配布。
5/15 5/15	総会実施 講演会、交流会の実施 （総会に引き続き実施）	議案第 1 ～ 6 号全て承認。　特記すべき質問、討議事項なし。場所：文化会館。参加者：86 名。 演題：「観光を活かしたまちづくりー姉妹都市交流を活性化する」 講演者：㈱JTB 常務取締役（観光推進・地域活性化担当）・立教大学観光学部特任教授　清水愼一氏 参加者：講演会 75 名、交流会 71 名。
5/22 5/31	年末交流会検討委員会設置 友好の翼検討委員会設置 インドネシア青年研修生 HV 実行委員会設置 定例会	
6/19 6/28	友好の翼実行委員会設置 年末交流会実行委員会設置 定例会	

月日	活　　動	活動内容と成果
7/1 7/17 7/26	UIFA ニュース 94 号発行 年末交流会実行委員会設置 定例会	1,200 部印刷、発行、配布。
8/28	市民まつり実行委員会設置 国際交流・協力フェスティバル実行委員会設置 Dr.フィリップス高校生受入実行委員会設置 UIFA の法人化検討委員会設置 明海大学留学生ホームビジット実行委員会設置 南アジア高校生ホームステイ実行委員会設置	
9/12	第 19 回地域交流サロン実施	テーマ「世界の家庭料理（中国・ハルピン編）」 参加者：21 人（外国人６人、日本人 15 人）
10/1 10/16 10/23 10/30 10/31	UIFA ニュース 95 号発行 第 13 回市民まつり参加 ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ実行委員会設置 第 20 回地域交流サロン実施 定例会	1,200 部印刷、発行、配布。 UIFA の活動紹介パネル・クイズ・友好の翼ＰＲ 専らおしゃべりの会とした。（大雨でキャンセル多数） 参加者：６人（外国人　１人、日本人　５人）
11/13 11/26	総会実行委員会設置 定例会	
12/18	応募検討委員会設置	
1/1 1/8 1/16 1/31	UIFA ニュース 96 号発行 新春交流会実施 国際交流・協力ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ参加 シンポジウム実施	1,200 部印刷、発行、配布。 場所：オリエンタルホテル東京ベイ 参加者：85 人（UIFA39 人、来賓 46 人） 「日本語教室のゆくえ」 基調講演：日本語教育のあり方～国から地域へ～ 西原鈴子氏（文化審議会会長、元日本語教育学会会長、元日本女子大学教授） ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ：ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ日本語教室の現状と将来 西原鈴子氏、梅原祥子氏、真殿直子氏、大塩プラニー氏、林貴女氏 参加者：75 人。　　＊後日、記録冊子を発行した。
2/6	第 21 回地域交流サロン実施	テーマ「世界の家庭料理（日本編）」 日本の味：おにぎりと味噌汁 参加者：17 名（外国人８名・日本人９名）
3/16	定例会	

ホームステイ・ビジット委員会

委員長　伊藤　孝敏　　副委員長兼会計　山上　晁子

本事業を振り返っての感想

昨年度に続き、受入れ家庭の拡大、ホストファミリー同士の横のつながりの強化に取り組んでおり、徐々に成果が現れてきている状況です。また、受入れ時のノウハウ提供や、初めて体験する家庭への支援等の取組みにも力を入れ、整備しつつある状況です。そして、もう少し長い期間受入れしたいという声も徐々に出てきており、ロングステイの検討に着手した年でもあります。

浦安市民の国際交流に関する意識が高いことは多くの団体に知られており、今年度も多くの団体から受入れ要請の依頼を受けています。一方で、計画から実施において事業を推進してくださる委員の確保が遅れており、来年度は、準備等に必要な人員・内容等お知らせし、お一人でも多くの方にお手伝いをお願いできればと考えています。

本年度につきましても、多くの皆様にご協力頂きました感謝を申し上げますと共に、来年度さらに充実した活動ができますよう皆様のご協力をお願い致します。

月日	活　　動	活動内容と成果
5/29	アフガニスタン高校生ホームステイ受入れ家庭へ事前説明会	JICA 大宮航時氏を講師に迎え、アフガニスタンの事情や国民の生活習慣、食事制限等について紹介頂いた。 受入れ日程、集合場所・時間等についてもご案内。24 名参加。
6/26-27	アフガニスタン高校生ホームステイ	国際交流サービス協会要請による、高校生８名、引率教師１名を９家庭で受入れ。浦安に到着後、郷土博物館見学、今川記念会館にて交流会（歓迎会）開催。52 名参加。
7/17	明海大学留学生ホームビジット	特別聴講生 21 名、別科生３名をホストファミリー13 家庭で受入れ。当日の集合場所には 55 名が集まり、委員が見送った。
10/3-24	オーストリア青年ホームステイ受入れ	ICYE ジャパン要請による、オーストリア人１名を１家庭で受入れ。
10/29	Dr.ﾌｨﾘｯﾌﾟｽ高校生ホームステイ説明会	浦安市の要請により、ホストファミリーへホームステイ受入れにあたっての心構えについて説明。他、ホストファミリー募集。
10/30	明海大学留学生ホームビジット	特別聴講生７名、別科生７名、ホストファミリー7 家庭で受入れの予定だったが、台風 14 号接近により、前日夜に中止を決定。
11/19-27	Dr.ﾌｨﾘｯﾌﾟｽ高校生ホームステイ	ホストファミリーへの支援、歓迎、見送り等全面協力。
11/28	ブータン高校生ホームステイ受入れ家庭へ事前説明会	日本の大学で学ぶ Deki Choden 氏を講師に迎え、ブータンの国や国民の生活習慣、食事等について紹介頂いた。受入れ日程、集合場所・時間等についてもご案内。17 名参加。
12/11-12	ブータン高校生ホームステイ	国際交流サービス協会要請による、高校生９名、引率教師１名を 10 家庭で受入れ。浦安到着後、郷土博物館見学、文化会館にて交流会（歓迎会）開催。
11/3/27	ホームステイ説明会	これからホームステイ受入れしてみようと考えているご家庭を対象に、体験談紹介や受入れまでの流れを説明。（震災により中止）

翻訳・通訳ボランティア委員会

委員長　白木　聖代　　会　計　　池田　美帆子

本事業を振り返っての感想

2010 年度は翻訳・通訳ボランティア委員会が誕生した年でした。委員会初の委員長として、皆様に助けていただき活動を進めることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

他の部会からの依頼による翻訳・通訳支援では、２年に一度のオーランドからの高校生一行のアテンドが大きな支援でしたが、京都へのアテンドも含めて多くの登録者の協力を得ることができ充実した支援ができました。また、委員会としては他の部会への支援のほか、自主事業としてナショナルデーとイングリッシュカフェを手がけました。一般の参加者も多く、UIFA と委員会について一般の方に知っていただくよい機会を提供できたと思います。

また、昨年度は翻訳・通訳ボランティアを新規募集し、登録者が加わり、現在 55 名ほどの登録者を擁しています。今後はさらに登録者を増やし、活動を広げてまいりたいと思います。

月日	活　　動	活動内容と成果
5/23	翻訳・通訳ボランティア交流会	26 名の参加者があり、その場で 13 名が委員会に登録する。UIFA と委員会について知ってもらうよい機会を与えることができた。
6/3	‘みんなでフットサル’に通訳派遣	日本語学習支援グループの手伝いとして２名の通訳ボランティアを派遣した。
6/26	アフガニスタン高校生への通訳、案内	ホームステイ・ビジット委員会からの依頼で４名の通訳ボランティアが通訳支援と案内を行った。
7/4	インドデー	58 名の参加者があり、インドについての話、インドの算数にチャレンジし、インドのお菓子やチャイの試食などを楽しみ、インドについての理解を深めることができた。
7/6	第 46 回日本小児循環器学会総会への通訳派遣	外部団体からの依頼。国際学会での初めての通訳支援を行なった。８名の通訳ボランティアが参加した。
9/5	イングリッシュカフェ	54 名の参加者があった。日本語を使わず、英語だけでの会話と交流を楽しんだ。UIFA と委員会への理解も深めた。
9/18	講演会での逐次通訳	文化交流部会依頼のクロアチアについての講演会で２名の通訳ボランティアが逐次通訳をした。多くの聴衆の前での通訳というよい機会を与えられた。
11/19～11/27	オーランド高校生への通訳、案内	2年に一度のオーランドからの高校生一行に対する通訳、案内を行なった。スクールツアー、東京観光、京都奈良観光など多くの通訳や案内に活躍できた。高校生との交流も深めることができた。12名の通訳ボランティアが手伝った。
12/11	ブータン高校生への通訳、案内	ホームステイ･ビジット委員会の依頼により、ブータン高校生達に3名の通訳ボランティアが通訳、案内支援を行った。高校生との交流も深めることができた。

浦安青年会議所共催・協力事業実行委員会

実行委員長　藤原　豊太郎

委員　米田喬、能登洋子、島野圭司

本事業を振り返っての感想

“Friendly neighborhood”事業の「みんなでフットサル」では、スポーツが、老若男女、国籍を超えて、あっと言う間に皆を friendly neighborhood にしてくれました。日本語教室の学習が 10 名プレイに参加しましたが、彼らの喜々とした笑顔は普段教室では見られないものでした。「講演とパネルディスカッション」のプロサッカー草分けの奥寺康彦氏のドイツ滞在時の話は感銘深いものでした。

“うらやす ECO プログラム”事業での廃油によるキャンドル作りは、参加者みんなが熱中して、キャンドル製作を楽しみました。それを境川沿いに並べた“キャンドルロード～うらやすミルキーウエイ”は、静かな感動を与えてくれました。

小松正人シェイクハンド協働委員長と高梨健太郎まちコミュ創造委員長を初めとした JC の方々との協働作業は楽しいものであり、彼らの若さのエネルギーは、我々をもすがすがしい気持ちにしてくれました。ありがとうございます。

月日	活　　動	活動内容と成果
3/	JC の来訪	JC 小松正人、高梨健太郎後両名が UIFA 事務所を来訪され、2010 年度の協働活動につき話し合った。
6/3	皆でフットサル	明海大学体育館に UIFA より 27 名参加し、内 10 名が日本語教室学習者だった。スポーツを通じて絆が深まることを実感したあっという間の３時間であった。
6/5 ＆ 6/6	ECO キャンドル作成会	JC 主催の富岡、日の出公民館で行われた ECO キャンドル作成会に夫々数名の UIFA 会員が参加した。
6/13	ECO キャンドル作成会	JC にお願いして UIFA 会員向けのキャンドル作成会を国産センターで開いて貰った。27 名が参加し、高梨、宮坂ご両名の指導の下で皆一生懸命ローソクを作った。
6/20	講演とパネルディスカッション	UIFA より 15 名が参加した。奥寺氏のサッカーの話は意義深いものであった。パネルディスカッションには UIFA 会員のスダカランさんがパネリストとして参加した。
7/7	キャンドルロード～うらやすミルキーウエイ	元町、新町の集合場所に夫々UIFA の幟を持ち集まった。キャンドル作成会で作った ECO キャンドルを持ち寄り、境川をキャンドルロードにして楽しんだ。

アフガニスタン高校生ホームステイ実行委員会

実行委員長　伊藤　孝敏
会計　山上　晁子
委員　長坂桂子、大野祐子、高橋共子、長谷川みな子、雨宮日生美、石橋裕代

本事業を振り返っての感想

外務省主催の南アジア高校生招聘計画の一環で来日の高校生・引率教師合計９名を１泊２日の日程でホームステイ受入れを実施しました。（10 名の予定でしたが、１名が来日できなくなり、９名で実施）

戦いが続き、治安が安定せず不安な毎日を過ごす高校生達が、恐怖を感じることのない平和な国で、わずかな時間ですが、日本の家庭でホームステイ体験しました。

彼ら皆が共通して、『日本という国がいつまでも平和であるように願っています』と、とても印象的なメッセージを残し、帰国していきました。

ホストファミリーからは、イスラム教の教えで暮らす生活を知ることができたことや、彼らが未来に向けて大きな夢や希望を持ち、現在の状況に真剣に向かい合っている姿を肌で感じたなど、それぞれに色々な体験をされた様です。

月日	活　　動	活動内容と成果
09/9/18	要請と受諾	国際交流サービス協会より受入れ要請、8ヶ国 80 名の中からアフガニスタンの高校生 10 名の受入れを受諾。
09/9/25	受入れ家庭募集開始	ホームステイ・ビジット登録家庭へ募集案内を発送。10/１号広報うらやす掲載、10/17 市民まつりでチラシ配布。
09/11/10	延期	インフルエンザの流行により、延期確定の連絡あり。延期の案内を 10 家庭に送付。
3/2	延期日程連絡	国際交流サービス協会より６月実施の案内。ホストファミリーへの事前説明会日程・場所、交流会（歓迎会）日程・場所決め。
3/13	受入れ意思確認	申込みの 10 家庭に６月の受入れ可否確認。
4/16	事前説明会講師依頼	アフガニスタンに詳しい方への講師依頼。
4/19	受入れ家庭追加募集	ホームステイ・ビジット登録家庭へ募集案内を電子メールで実施。
4/22	事前説明会案内発送	事前説明会の案内状を発送。10 家庭。
5/18	事前説明会打合せ	講師の方との打合せ。紹介頂きたい内容等をすり合わせ。
5/23	ボランティア協力	郷土博物館見学・交流会での翻訳・通訳ボランティア協力を依頼。
5/29	事前説明会	アフガニスタンにて復興支援に携われ、アフガニスタンに詳しい JICA 大宮航時氏から、アフガニスタンの国や生活習慣等について紹介。国際センターにて、24 名参加。
6/26～27	交流会、受入れ	浦安に到着後、郷土博物館の見学、今川記念会館で交流会（歓迎会）実施。交流会終了後ホームステイ。翌日総合駐車場にてお別れ。
7/1	歓送レセプション	東京プリンスホテルにて来日一行 79 名の高校生歓送レセプションに参加。ホストファミリーも出席し、帰国前のお別れ。
10/１	ゲストの感想紹介	ゲストを代表して２名の感想を UIFA ニュースにて紹介。

明海大学留学生ホームビジット実行委員会

実行委員長　伊藤　孝敏　　会計　山上　晁子
委員　長坂　桂子、石橋　裕代、渡部　美由紀

本事業を振り返っての感想

特別聴講生には４月入学と９月入学からの半年間の学生がおり、両方の学生に体験して貰いたいという思いから、昨年度は年２回を実施、今年度も同様に実施の方向で、まず今回はその１回目、４月入学の特別聴講生を中心に、別科生と共に実施しました。

昨年度、ホストファミリーより、「１日に絞られると、その日の都合が悪いと受け入れたくても受け入れられない。次の週なら良かったのに。」という声があり、それを反映し、複数日から都合の良い日を選択し、都合の合う学生とマッチングする方法を取り入れることにしました。しかしながら、最終的には大学の行事等の都合により１日の設定となり、今後の申し送り事項としました。

参加人数としては、学生が 28 名応募（当日までに４名がキャンセル）、ホストファミリー13 家庭でした。ホストファミリーが不足するという懸念点が残り、今後の対応としては募集学生数を設ける等の対応が必要と考えています。

月日	活　　動	活動内容と成果
3/29 5/6	実施日調整	明海大学学事課（留学支援）担当者様と実施日程について打ち合わせ。学生の試験日程、大学側の行事等と UIFA 行事、学校の行事等を考慮し、７/17(土)及び７/18(日)13 時～17 時を候補日と決定。 ホストファミリーが応募しやすい様に、どちらか一方都合が付く方を応募して頂く事で試行的に実施。
5/15	実施日の再調整	大学施設内の設備点検の予定が入り、７/18(日)は中止とし、７/17(土)のみに変更。
5/29	受入れ家庭募集開始	ホストファミリーへの募集案内配布を開始。
6/8	受入れ家庭募集	ホームステイ・ビジット受入れ登録家庭へ募集案内を発送。
6/18	受入れ家庭募集	日本語教室のボランティア及び受講者へ案内を実施。 （その他、電話での案内、UIFA ニュース７月号でも案内実施）
7/3	明海大学と打合せ	当日の集合時間、出席確認方法、会場設営方法、看板設置場所、駐車場ゲート開放、アンケート配布、学生への連絡について打ち合わせ。
7/10	実行委員会	マッチング、当日の会場設営、UIFA 入会用紙の準備、補助金領収書準備、アンケート配布、ホストファミリーへ当日の案内発送。
7/17	ホームビジット実施	特別聴講生 21 名・別科生３名の合計 24 名（出身は台湾 15 名・韓国６名・中国２名・米国１名）、受入家庭 13 家庭で実施。 集合場所である明海大学 30 周年記念館には 55 名が集合。
7/18	御礼	ホストファミリーへの御礼連絡。
7 /18 ～８/ 2	アンケート回収	留学生及びホストファミリーにお願いしたアンケートを回収。 （今後の活動の参考にする）

第 13 回浦安市民まつり実行委員会

実行委員長　能登　洋子　　会計　　田中　智惠子
実行委員　米田　喬・田中　稔也・藤原　豊太郎
西澤　芙紗子

本事業を振り返っての感想

UIFA の活動を多くの市民に知ってもらうために、また理解と親しみを持ってもらうために本年も参加しました。

今年は UFRA の協力を得、パネルでの４部会及びホームステイ・ビジット委員会、翻訳・通訳ボランティア委員会の活動の紹介、そして UFRA の紹介も実施しました。

「インターナショナルカフェ」をテーマにテント内に喫茶コーナーを設け、インドネシアのトラジャコーヒー又は韓国のゆず茶と色々な国のお菓子をセットにして販売しました。テント内にはインターナショナルにふさわしく、世界の国旗を飾りました。

今回、新しく試みたテント内の喫茶コーナーで、色々な方と会話を楽しむ事ができました。

100 名以上の方が UIFA ブースに来てくれました。用意したお菓子、コーヒーは３時間位でなくなり、楽しい会話が弾み、UIFA、UFRA の活動、友好の翼の紹介等が出来た事で、UIFA 全般について親近感を抱いていただけたと確信します。この活動を通して、UIFA を理解し会員が増加することを期待します。

月日	活　　動	活動内容と成果
9 /23	第１回実行委員会	市民まつり・実施要領を作成し、それに基づき打合せを行った。 当日の要員配置・集合時間についても確認しあった。
10/ 7	お菓子等の買い出し	実行委員２名がアメ横で、世界のお菓子の買い出しに行った。
10/12	第２回実行委員会	お菓子の袋詰めを行なった。 印刷物他を作成した。
10/15	第３回実行委員会	最終打ち合わせをした。
10/16	市民まつり参加	会場設営・物品搬入・搬出を行なった。 約 100 名の訪問を受けた。 午後３時に閉店した。
10/16	後片付け	UIFA 事務所で行なった。

明海大学留学生ホームビジット実行委員会

実行委員長　伊藤　孝敏　　会計　山上　晁子
委員　石橋　裕代

本事業を振り返っての感想

９月入学の特別聴講生を中心としたホームビジットとして、また要望としてあがっている、来日後間もない内に実施して欲しいという事を考慮し、学校や地域の行事と重ならない日の 10 月での実施としました。

しかしながら、ご家庭で予定を組まれている事情等があり、実施２週間前の時点で留学生の応募 18 名に対しホストファミリーは５家庭という状況で、直前までホストファミリーを探すという忙しい状況で当日を迎えることとなりました。

最終的には学生 14 名、ホストファミリー７家庭となりましたが、台風 14 号が関東に最接近するという予報で、前日の午後、明海大学から学生の安全を優先したいという申し出を受け、中止としました。

今後については、前回実施時と同様に複数日を設定し、その中からホストファミリーの都合の良い日を指定できる選択方式を検討したいと考えます。

半日という短い期間で気軽にできる国際交流です。来年度も皆様からの申し込みをお待ちしております。

月日	活　　動	活動内容と成果
7/20	ホームビジット受諾	明海大学留学生（別科生・特別聴講生）のホームビジット受入れ受諾。
7/21	実施日調整	明海大学学事課（留学支援）担当者様と実施日程について打ち合わせ。大学側の行事等と UIFA 行事等を考慮し、10/30(土)を候補日に決定。
8/31	受入れ家庭募集	ホームステイ・ビジット受入れ登録家庭へ募集案内を郵送。
10/1	受入れ家庭募集	UIFA ニュース 10 月号で募集案内。
10/15	受入れ家庭募集	ホームステイ・ビジット受入れ登録家庭へ募集案内を再度実施。
10/17	明海大学と打合せ	当日の集合時間、出席確認方法、会場設営方法、看板設置場所、駐車場のゲート開放、アンケート配布、学生への連絡について打ち合わせ。
10/19	実行委員会	マッチング、当日の会場設営、UIFA 入会用紙の準備、補助金領収書準備、アンケート配布、ホストファミリーへ当日の案内発送。
10/29	明海大学と打合せ 三役との打合せ 受入れ家庭への連絡	翌日の気象予報から、台風 14 号が関東に最接近するとのことで、自転車で大学まで来る学生もあり、学生の安全を最優先し、中止と決定。 中止の案内を、受入れ全家庭に連絡。

Dr.フィリップス高校生受け入れ実行委員会

実行委員長　重松　清弘　　会計　西澤　芙紗子
実行委員　伊藤　孝敏、ホームステイ・ビジット委員会メンバー、白木　聖代
翻訳・通訳ボランティア委員会メンバー、姉妹都市交流部会メンバー

本事業を振り返っての感想

Dr.フィリップス高校は、「友好の翼」が毎年オーランドを訪問する際は、同校を訪れ「ジャパンナイト」を催し日米文化交流を行う関係の深い学校でもあるので、万全を期して受入準備を行いました。受入の主体は市・こども部青少年課ですが、我々も全面的に協力しました。２年毎の来日ということですが、今回は 30 名の生徒、５名の先生プラス１名の添乗員の体制で 11/19 日に来日し、日本での楽しい思い出と共に 27 日に帰国しました。

月日	活　　動	活動内容と成果
5 / 8	第１回実行委員会	実行委員長より、Dr.フィリップス高校（以下 DPHS という）の先生・生徒一行 36 名が 11/19 に来日し、約一週間の予定で浦安市でのホストファミリーとの交流や、東京、京都、奈良、千葉房総の村を見学する等概略的な説明が行われた。
6 /12	第２回実行委員会	対応内容やメンバーの分担について話し合った。
8 /28	第３回実行委員会	市・こども部青少年課岩井氏より滞在日程表の説明を受けた。
9 /11	第４回実行委員会	DPHS 一行滞在期間中の各日にちへの実行委員会からの派遣者数について翻訳・通訳ボランティア委員会と調整を行った。 DPHS 先生の歓迎パーティー（11/20 夕刻）の企画や DPHS 滞在時の緊急体制について話し合った。
10/ 9	第５回実行委員会	DPHS 最新情報について共有した。 DPHS 先生歓迎パーティー内容について決定した。
10/29	第６回実行委員会	市・こども部青少年課主催の DPHS ホームステイ受入家族に対する説明会に参加した。
11/19	DPHS 一行来日	実行委員は日程表に基づき行動した。
11/27	DPHS 一行帰国	36 名全員無事に帰国した。

南アジア高校生ホームステイ実行委員会

実行委員長　伊藤　孝敏　　会計　山上　晁子
実行委員　長坂　桂子、高橋　共子、石橋　裕代

本事業を振り返っての感想

アフガニスタン高校生ホームステイと同様、外務省主催の南アジア高校生招聘計画の一環で来日の高校生・引率教師合計 10 名を１泊２日の日程でホームステイ受入れを実施しました。

ヒマラヤ山脈の南に位置するブータンという国は、平和で穏やかに暮らし、精神的な豊かさを表す国民総幸福量（ハピネス）が世界１位と言われています。そんな国の高校生と、また彼らの国の文化や習慣を身近に感じ、ホストファミリーの皆様からは、１泊と言わず、あと何日か一緒に過ごしたかった、とても貴重な経験をした、との感想をいただきました。ブータンの高校生からは『日本の生活習慣や食べもの、政治や技術等が自分達の国と全く違うことに驚いた。ホストファミリーの温かさがとても印象的だった』と感想を残して帰国していきました。

来年度につきましても南アジア高校生招聘計画で来日する高校生の受入れ（どの国のゲストかは未定）を実施したいと考えていますので、楽しみにして下さい。

月日	活　　動	活動内容と成果
９/30	要請と受諾	国際交流サービス協会より受入れ要請。８ヶ国 80 名の中からブータンの高校生 10 名の受入れを受諾。交流会会場を予約。
10/19	受入れ家庭募集開始	ホームステイ・ビジット登録家庭へ募集案内を発送。93 家庭。
10/23	第１回実行委員会	今後の募集方法、ホストファミリーへの事前説明会の日程・会場、ゲストとの交流会（歓迎会）等の打合せ。説明会会場を予約。
10/30	事前説明会講師依頼	日本の大学に留学中で都内在住のブータン人大学生に講師依頼。
11/９	事前説明会案内発送	事前説明会の案内状を発送。10 家庭。
11/15	ボランティア協力	郷土博物館見学・交流会での翻訳・通訳ボランティア協力を依頼。
11/19	ゲスト一覧	国際交流サービス協会よりゲストのパーソナルデータを入手、ホストファミリーとの組合せ。
11/28	事前説明会	日本の大学で学んでいるブータンの学生 Deki Choden 氏から、ブータンの国や生活習慣等について紹介。ゲストとスケジュール等も案内した。WAVE101 サロン５にて、17 名参加。
11/28	第２回実行委員会	交流会（歓迎会）準備と分担、当日のスケジュールについて打合せ。歓迎の横断幕作成。郷土博物館団体見学の申請。
12/11～12	交流会、受入れ	浦安に到着後、郷土博物館の見学、文化会館で交流会（歓迎会）実施。交流会終了後ホームステイ。翌日総合駐車場にてお別れ。
12/16	歓送レセプション	東京プリンスホテルにて来日一行 80 名の高校生歓送レセプションに参加。ホストファミリーも出席し、帰国前のお別れ。
２/10	ゲストの感想文提供	ゲスト 10 人分の感想文を受取り、翻訳・通訳ボランティアの協力を得て日本語訳したものを作成。ホストファミリーに提供。 その内一人分については、４月号 UIFA ニュースに掲載。

新春交流会実行委員会

実行委員長　大野　佑子　副実行委員長　織内　勲、　会計　米田　喬
実行委員　李　青、藤原　豊太郎、田中　稔也、長坂　桂子、能登　洋子、
田中　智惠子、高橋　共子。

本事業を振り返っての感想

今回の交流会の最大の特徴は、余興的なものを止めて UIFA の PR と会員の親睦に目的を絞ったことと、市内の様々の分野の団体からのご出席を頂いたことにあります。その結果、当初の目的である幅広い会員に UIFA の紹介ができ、親睦を深める事ができました。

月日	活　　動	活動内容と成果
8/23	第１回実行委員会	今回の交流会の目的と方針に関する確認と意見交換、参加者および参加人数の想定。
８/30	第２回実行委員会 会場交渉と下見	日程および会場に関する討議、会場候補ホテルとの交渉の開始と下見。
9/8	第３回実行委員会 ホテルとの交渉	２ホテル仮予約：会費に関する話し合い、(B) ホテル担当者との交渉結果を踏まえ会場決定は運営会議に依頼。
10/15	第４回実行委員会	会場ホテル・日時・参加費の決定、プログラムの内容および出席者について検討。
10/21	作業日	開催に関する案内状の作成と配布先の決定、チケット・チラシ・ポスター等の原稿作り。
10/28	緊急実行委員会	開催日時の変更に関する討議を行い変更を決定、ホテルと交渉、最終決裁は会長に一任。
11/2	日時決定	新春交流会：2011 年１月８日（土）12:00-14:00、オリエンタルホテル東京ベイ、1F　ローズ　にて開催を決定。
11/10	作業および会議	チケット・ポスター・チラシの作成と配布、チケットの販売方法とタイムスケジュールについての討議。
11/18	作業日	プログラム・名札の作成準備。
12/10	第５回実行委員会	チケット売り上げの確認、プログラム作成・会場準備(各部会・委員会のパネル等を含む)、タイムスケジュールと役割分担。
12/18	第６回実行委員会	プログラムのタイムスケジュールと役割分担の決定と確認、名札制作。
12/21	最終確認	出席者（名前・肩書き）名札のチェック、前日会場への運搬の準備と確認、出席者の構成・人数の確認。
1/6	打ち合わせ	当日のスケジュールおよび役割分担表の作成、および当日使用の名札、出席表、プログラムなどの最終確認および会場への搬入作業。
1/８	新春交流会 12:00～14:00	プログラム：会長挨拶→市長挨拶→来賓紹介→浦安市職員紹介→乾杯→歓談・会食→団体挨拶→閉会。場所：オリエンタルホテル東京ベイ 1F　ローズ。参加人数：86 名（来賓 46、UIFA 40)。
	反省会	交流会終了後、会場ホテル内で主に交流会の意義，あり方について討議。次年度に継続。

浦安市国際交流・協力フェスティバル実行委員会

実行委員長　越　茂樹　会計：城戸　励二
実行委員　金子、小芝、後藤、佐藤、原、大谷、
（文化交流部会が幹事）

本事業を振り返っての感想

平成 23 年 1 月 16 日（日）、浦安市と関連 13 団体合同実行委員会との共催により、国際交流・協力フェスティバル 2010 がショッパーズプラザ新浦安 1 階広場で開催されました。UIFA も多くの市民に自分達の日頃の活動状況を紹介して理解を深めていただき、一人でも多くの人に私達の活動に参画してもらう事を目的に参加しました。

主会場とは別に 2 階通路では、7 日から 16 日の 10 日間、日本語グループのパネルを展示し、教室案内パンフレットを冊子受けに入れ、時折補充をしました。

反省点はあるものの、スタンプラリーキャンペーンにより UIFA ブースへは 49 名が立ち寄ってくれ、私達の日頃の活動の一端を市民の方々に知ってもらうという面では会場が来訪者の多いダイエーの屋内広場ということもあって大きな効果があったものと確信しています。

月日	活　　動	活動内容と成果
11/25（木）	第 1 回実行委員会	展示パネル等出展品の確認、ステージ演目の協議、当日の展示品搬入の段取り、ブース当番割り振り、クイズ内容の決定。
12/16（水）	第 2 回実行委員会	会場搬出入品と要領の確認。会場設営担当者と受付当番割り振りの決定。
1 / 7（金）	第 3 回実行委員会	搬出品、搬出入要領、担当者の最終確認。
1 /27（木）	最終実行委員会	反省と次期実行委員長を決定。

シンポジウム実行委員会

実行委員長　藤原　豊太郎　　会計　米田　喬
実行委員　能登　洋子、田中　智恵子、松枝　文恵、須田　光一、真殿　直子

本事業を振り返っての感想

1月30日､国際センターで行われたシンポジウム｢日本語教室のゆくえ｣には75名が参加し、ボランティア日本語教室に対する関心の高さが示されました。船橋、習志野、鎌ヶ谷等の市外からも 10 名の方が来られました。文化審議会会長の西原鈴子氏の講演｢日本語教育のあり方｣では国としての定住外国人に対する施策が述べられ、生活者としての外国人を支えるには地域の日本語ボランティアの協力が不可欠との説明がありました。パネルディスカッシン「ボランティア日本語教室の現状と将来」には学習者の外国人、日本語を教えるボランティアの双方が参加しました。特に学習者２名からは、言葉の壁、文化の壁の実情が訴えられ、聞く者に感動を与えました。質疑応答では市外からの参加者からも多くの質問が寄せられ、予定時時間を30分オーバーする熱のこもったシンポジウムでした。この後の２月に行われた日本語教室でボランティアをして頂くための入門講座には例年よりはるかに多い39名の方が受講されましたが、このシンポジウムの影響があったように思います。

月日	活　　動	活動内容と成果
11/８	準備会発足	
～１/８	都合５回の準備会を開催	
１/15	広報うらやすに告知	
１/30	シンポジウム	参加者75名、内市外(船橋、鎌ヶ谷、印西他)10名。
	アンケート結果	回収アンケート55通の内訳 非常によかった　よかった　普通　合計 基調講演　27　24　4　55 ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ　22　25　8　55 質疑応答　9　20　16　45 シンポジウム全体　20　31　4　55
３/31	シンポジウム記録	冊子としてまとめた。

2011年度総会実行委員会

実行委員長：米田　喬　　会計：田中　智惠子
実行委員：大野　佑子、織内　勲、大沢　利衣、李　青、藤原　豊太郎、田中　稔也、長坂　桂子、能登　洋子、小西　英雄、佐藤　豊治、星井　裕子、古瀬　義勝

本事業を振り返っての感想

総会への参加者が少ないことが、毎回、問題視されてきました。総会自体に興味を持って貰える工夫が必要なのですが､そこに交流会を付けることでさらに集客効果を挙げようとしています。従来は、講演会を行なうことでその役を果たそうとしましたが、今回は、交流会そのものに楽しさを持たせようと考えました。団体の会員数が多くなると会員が一同に会する機会が少なくなってきます。現在では、新春交流会と総会に絞られます。そこで新春交流会を団体会員や来賓との交流、総会後の交流会を一般会員とその予備軍との交流に主眼を置くことにしました。その交流会をより楽しいものにすることを企てました。

しかし、３月 11 日の東日本大震災により、会場として確保していた文化会館が災害対策本部設置のために使えなくなり、次に確保した市役所第３庁舎２階大会議室も県議会議員選挙のために使えなくなり、一時は、総会の開催も危ぶまれましたが、消防庁舎３階多目的ホールが確保できました。しかし、交流会は中止せざるを得なくなりました。交流会への新しい試みは、次年度に実現したいと思います。

月日	活　　動	活動内容と成果
11/13	総会実行委員会設置	総会の日時と場所を確定した。
1/20	第１回実行委員会実施	総会及び交流会の基本方針を決めた。
2/14	第２回実行委員会実施	総会と交流会の目標参加者数を決め、参加者を増やすためのアイデアを出し合った。
3/23	第３回実行委員会実施	交流会を盛り上げるアイデアを出し合った。交流会の参加費は無料とし、震災救援募金を募ることとした。UIFA 創立 25 周年記念交流会とした。
3/31	総会資料原稿締め切り	
4/15	総会資料原稿の読み合わせ	
4/16	総会議案の審議・承認	運営会議および理事会で審議し、承認を得た。
4/16	会場の変更通知	市より会場の文化会館が使用不可となり、代替を第３庁舎３階大会議室にすると通知された。
4/26	会場の変更通知	市より会場の第３庁舎３階大会議室が使用不可となり、代替を消防庁舎３階多目的ホールにすると通知された。
5/9	総会資料の最終確認	三役会で確認した。
5/10	印刷発注	150 部発注した。
5/19	総会資料納入	
5/21	総会開催	市消防庁舎３階多目的ホール、13：00～14：00。

浦安市・教育機関関連会議・行事等への参加

	件　　名	開催回数	参加延べ人数
1	浦安市ふるさとづくり推進協議会理事会	6	6
2	同協議会花火大会安全祈願式・大会・清掃	3	3
3	男女共同参画推進会議	7	7
4	青少年海外派遣事業選考会議	3	3
5	同事業団結式･報告会	2	4
6	明海大学別科特別聴講生歓迎会・歓送会	4	26
7	浦安市国際化指針策定懇話会	4	4
8	オーランド・ランナー歓迎会	1	7
9	教育委員会関連講演会	2	12
10	船橋市・災害時外国人サポーター養成講座	6	6
11	富岡中学校・仕事の体験談（国際貢献）	1	1
	総　　計		79

浦安市国際交流協会会則

（名称）

第１条　この会は、浦安市国際交流協会（以下「協会」という）と称する。

（目的）

第２条　協会は、身近な生活の場において国際理解と国際親善を深め、平和な国際社会の実現と多文化が共生できる地域社会の創設に寄与する。

（活動）

第３条　協会は、前条の目的達成のため、次の活動を行う。

(1) 国際交流・協力及び地域国際化に関する計画及び実施

(2) 国際交流・協力及び地域国際化に関する情報、資料の収集及び普及

(3) 国際交流及び地域国際化に関する諸団体との協力

(4) その他国際交流・協力及び地域国際化の推進に必要な活動

（事業）

第４条　協会は、前条の活動を具現化するため、次の事業を行う。

(1) 外国語学習による国際理解・交流事業

(2) 日本語学習支援による国際理解・交流事業

(3) 異文化学習による国際理解・交流事業

(4) 姉妹都市交流による国際理解・交流事業

(5) ホームステイ・ビジット受入による国際理解・交流事業

(6) 翻訳・通訳ボランティア事業

(7) 地域国際化事業

(8) 会員の資質向上に必要な事業

(9) 広報事業

(10) 協会の維持運営に必要な事業

（会員）

第５条　協会は、第２条の目的に賛同し、原則として浦安市在住、在勤又は在学の 16 歳以上の個人会員、団体会員をもって組織する。

２　会員となる者は、入会申込書を会長に提出しなければならない。

（役員）

第６条　協会に、次の役員を置く。

会長　　１名
副会長　　３名
会計　　１名
理事　　30 名以内
副理事　30 名以内
監事　　２名

２　役員の任期は２年とする。ただし、再任については以下のとおりとし、その後は当該役職を連続にはできないものとする。

会長　　３期までとする。
副会長　　２期までとする。
会計　　１期とする。

その他の部会役員については、原則として１期とする。

３　役員の辞任に伴う後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（名誉会長、顧問）

第７条　会長は理事会に諮って、協会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

（役員の選出方法）

第８条　会長、副会長及び会計の選出方法は、細則で決める。

２　理事、副理事及び監事は、関係団体の代表、部会の代表、その他の会員の中から理事会の推薦を経て総会において選任する。

（役員の職務）

第９条　会長は、協会を代表し、会務を総括する。

２　副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

３　会計は、協会の会計事務をつかさどる。

４　理事は、協会の会務の基本事項を処理する。

５　副理事は、理事を補佐し、理事に事故あるとき、理事に代わってその職務を処理する。

6 監事は、協会の会計を監査する。

（会議）

第 10 条　協会の会議は、総会、理事会および運営会議とし、総会の議長はその都度、会員の中から推薦により選任することとし、理事会・運営会議の議長は、会長が務める。

（総会）

第 11 条　総会は毎年１回会長が招集する。ただし会長又は、理事会が特に必要と認めた時は、臨時総会を開催することができる。

2 総会において決議、又は承認する事項は次のとおりとする。

(1) 事業報告及び決算に関すること
(2) 事業計画及び予算に関すること
(3) 会則の改正に関すること
(4) 役員の選任に関すること
(5) その他、会長が必要と認める事項

3 総会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

（理事会）

第 12 条　理事会は、会長・副会長・会計及び理事をもって構成し、会長が随時召集する。

2 理事会において審議する事項は、次のとおりとする。

(1) 総会に付議する事項
(2) 協会運営の基本に係わる事項
(3) 会長が特に必要と認める事項

（運営会議）

第 13 条　理事会は、総会の事業活動を円滑に推進するために、理事会のもとに運営会議を設ける。

2 運営会議は、会長、副会長、会計、及び正・副部会長をもって構成する。

3 運営会議で決定する事項は、次のとおりとする。

(1) 事業計画及び予算にもとづく協会の具体的事業の執行に関すること
(2) 各部会の活動の調整に関すること
(3) その他、理事会に付議する必要のない事項

（部会等）

第 14 条　会長は、協会の事業を推進するために、理事会の同意を得て、下記の部会を設ける。その他必要に応じて特別の委員会を、協会全体で実施する短期的事業については時限的な実行委員会を設けることができる。委員会及び実行委員会の設立は運営会議の同意のみで可とする。言語学習部会、文化交流部会、姉妹都市交流部会、総務部会。

2 部会は、協会の事業の具体化のため、各々の所管にもとづき、企画立案及び実施にあたる。

3 部会は、部会役員として部会長、副部会長、部会会計を各１名置く。

（経費）

第 15 条　協会の経費は、次の収入をもってあてる。

(1) 会費
(2) 寄付金及び賛助金
(3) 行事等の参加費
(4) その他の収入

（会費）

第 16 条　協会の会費は、次のとおりとする。

(1) 個人会員　　年額　1,000 円
(2) 団体会員　　年額　10,000 円

（会計年度）

第 17 条　協会の会計年度は、毎年４月１日から翌年３月 31 日までとする。

（事務局）

第 18 条　協会の事務を処理するため浦安市市民経済部地域ネットワーク課内に事務局を置く。

（委任）

第 19 条　この規約に定めるもののほか、必要な事項は、会長が運営会議に諮った上、別に定める。

（付則）この規約は、昭和 62 年２月 29 日から施行する。

（付則）この規約は、1991 年５月 11 日から施行する。
（付則）この規約は、1997 年５月 17 日から施行する。
（付則）この規約は、2001 年５月 19 日から施行する。
（付則）この規約は、2002 年３月 16 日から施行する。
（付則）この規約は、2003 年４月１日から施行する。
（付則）この規約は、2004 年５月 15 日から施行する。
（付則）この会則は、2008 年５月 17 日から施行する。
（付則）この会則は、2010 年５月 15 日から施行する。

浦安市国際交流協会会則細則

（趣旨）

第１条　この細則は、浦安市国際交流協会会則（以下「会則」という。）第７条の規定により、会長、副会長及び会計（以下「三役」という。）の選出方法に関し、必要な事項を定めるものとする。

（選出方法）

第２条　副会長の任期は３名の内の１名を１年ずらした任期とする。

２　会則第７条の三役の選出方法は、会長、副会長及び会計の役職ごとに無記名の投票を行い、獲得票の多い者を選出する。
ただし、最多得票者が全有効投票数の３分の１以下の場合には、獲得投票数の多い順に上位３位までを対象に再投票を行なう。
また、最多得票者が複数生じた場合には、その最多得票者のみ対象に再投票する。

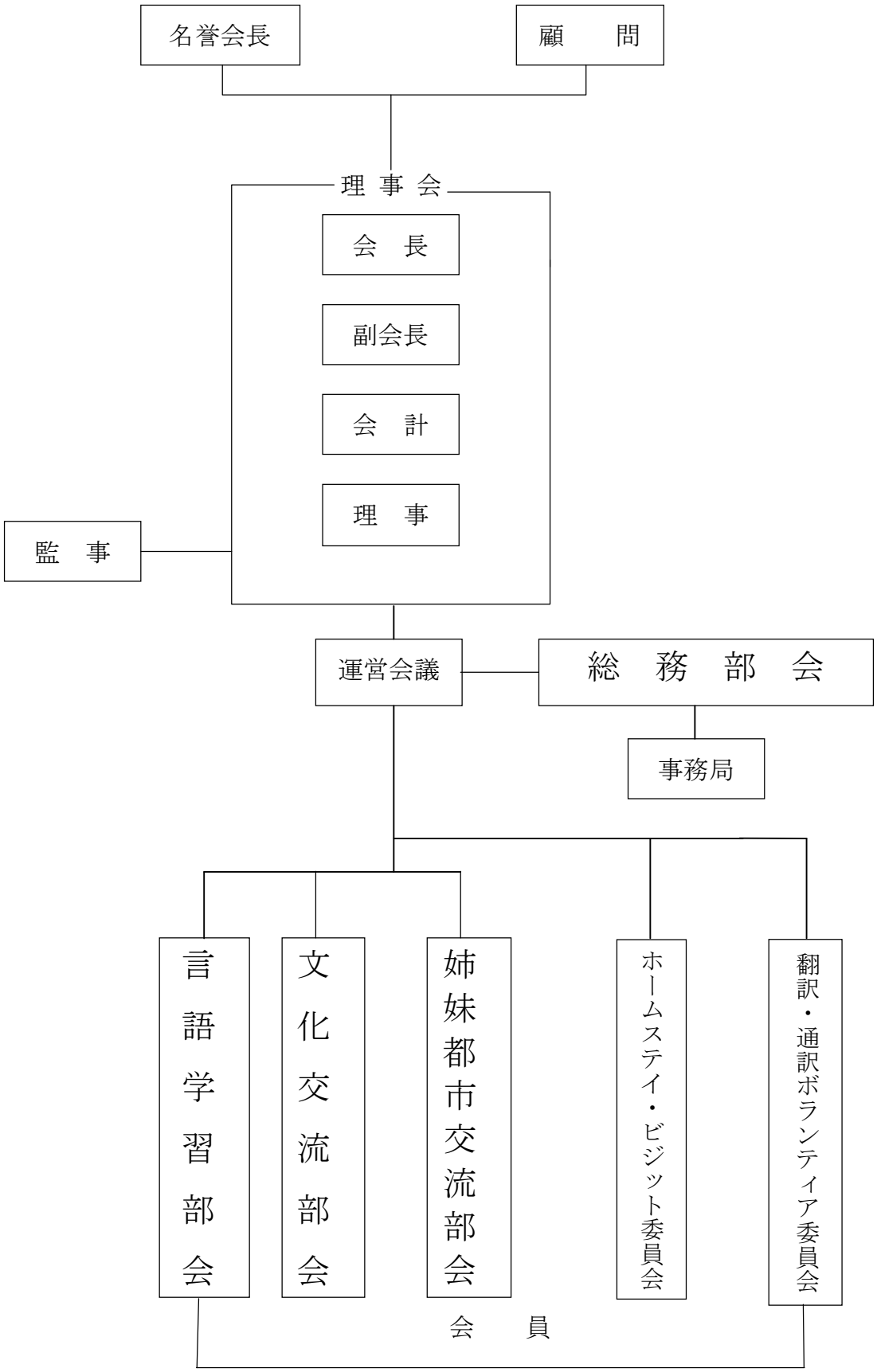
３　投票は、投票日に予め定められた場所において、三役を選出する権利を有する者（以下「有権者」とう。）本人が前項の方法によって行なうものとする。
ただし、やむを得ない事情により当日投票ができない者は所定の方法により、事前に不在者投票をすることができる。

４　前項の有権者は、会長、副会長及び会計並びに正・副部会長とする。

５　第２項により選出された者が、辞退した場合には、再選挙を行なう。

（附則）この細則は 2010 年５月 15 日から施行する。

浦安市国際交流協会組織図



２０１１年5月２１日

浦 安 市 国 際 交 流 協 会(UIFA)
〒２７９－０００３
浦安市海楽１－２９－１２　TMビル　3F
TEL&FAX　０４７（３８１）５９３１
e-mail　uifa@uifa-urayasu.jp
http://www.uifa-urayasu.jp/